2022
BIRMINGHAM, USA

THE WORLD GAMES

第11回 ワールドゲームズ・バーミングハム大会

報告書

©IWGA

JAPAN World Games Association

期　間　2022.7.7-17

開催地　バーミングハム市 | アメリカ合衆国

THE WORLD GAMES

特定非営利活動法人 日本ワールドゲームズ協会

ご 挨 拶

特定非営利活動法人
日本ワールドゲームズ協会

会長　赤木 恭平

JAPAN WORLD GAMES
ASSOCIATION
PRESIDENT KYOHEI AKAGI

あかぎ・きょうへい
1931年生まれ。岡山県高梁市出身。早稲田大学法学部卒。1995年から2011年まで全日本ボウリング協会会長に就任、スポーツとしてのボウリングの普及に尽力。1995年世界ボウリング連盟会長、1999年同連盟終身名誉会長に就任するなど国際舞台においても活躍。2002年には日本及びアジア地域をはじめ世界各地のボウリングの普及・振興のほか、スポーツ全般の普及にも尽力された功績が称えられ国際オリンピック委員会（IOC）よりIOCオリンピック・オーダーを受章。2003年には日本国政府より勲四等瑞宝章を受章。ワールドゲームズにおいては1998年に日本ワールドゲームズ協会の理事に就任、2018年6月より現職。日本オリンピック委員会名誉委員、日本健康スポーツ連盟副理事長、九州医療スポーツ専門学校学校長。

JAPAN World Games Association

第11回目を迎えました「ワールドゲームズ」は、2022年7月7日から17日までアメリカ合衆国・バーミングハム市（アラバマ州）で開催されました。今大会は、東京オリンピック・パラリンピック競技大会同様、新型コロナウイルス感染症の影響により一年延期しての開催となりましたが、過去最多の99の国や地域から3,457名もの世界最高峰のトップアスリートが集結し、34競技223種目のメダルを目指し、炎天下の中、連日熱戦が繰り広げられました。

日本からはアジア最多となる137名の精鋭が日の丸を胸に21競技（公式競技17、公開競技4）に挑み、コロナ禍で思うような練習や調整ができない中、過去最高の33個のメダルを獲得するなど大変目覚ましい成果を挙げられました。（メダル数世界6位。前回大会（2017年）7位）

ここに、今大会に参加されましたすべての日本代表選手並びに関係者皆さま方のご健闘、ご活躍、ご尽力に心から敬意を表したいと思います。また、総勢250名もの日本選手団の大会参加に伴い、外務省、スポーツ庁、駐日米国大使館、現地日本国総領事館、日本オリンピック委員会をはじめ、渡航費の一部をご支援いただきました日本スポーツ振興センター、素晴らしい代表ウエアをご提供いただきましたファイテン株式会社、連日選手の活躍を取り上げてくださいましたメディア各社など多くの関係組織や関係者の皆さま方より多大なるご支援ご協力を賜りましたことに深く感謝・御礼を申し上げます。

1981年にアメリカのサンタクララで第1回大会が開催されて以来40年の歳月を経て、再びアメリカの地での開催となりましたが、主催団体である国際ワールドゲームズ協会（IWGA:International World Games Association）、後援団体の国際オリンピック委員会（IOC:International Olympic Committee）をはじめ、開催都市のバーミングハム市の組織委員会や政府等のご支援ご尽力により、今回も人々の記憶に残る大変素晴らしい大会となりました。

写真提供：IWGA

2022
BIRMINGHAM, USA

contents

ワールドゲームズとは 4
概要／IWGA加盟団体競技
公式・公開競技の変遷
バーミングハム大会 開催日程
各国参加選手数・メダル獲得数一覧

公式競技 8
エアースポーツ／アーチェリー（フィールド）／ビリヤード
ブールスポーツ／ボウリング／カヌー（ポロ・マラソン）／ダンススポーツ
フィストボール／フロアボール／フライングディスク／体操（アクロバット体操）
体操（エアロビック／パルクール／新体操／トランポリン）
体操（タンブリング）／ハンドボール（ビーチ）／柔術／空手
キックボクシング／コーフボール／ラクロス（女子）
ライフセービング／ムエタイ／オリエンテーリング／パワーリフティング
ラケットボール／ローラースポーツ／ソフトボール
スポーツクライミング／スカッシュ／相撲
綱引／水中スポーツ（フィンスイミング）／水上スキー・ウエイクボード

公開競技 18
アメリカンフットボール（フラッグフットボール）／ラクロス（男子）
トライアスロン（デュアスロン）／車いすラグビー／武術

日本代表選手一覧 20

日本選手団 団長挨拶 29

大会ハイライト 30

メダリストインタビュー 32
ダンススポーツ 湯浅亜実選手
パワーリフティング 福島友佳子選手
相撲 花田秀虎選手
ソフトボール 後藤希友選手

フォトギャラリー/大会DATA 36

協賛社挨拶 40

記者発表&日本代表選手壮行会（結団式） 41

主催者挨拶 44

大会総括 46

協会概要 47

23の会場は国際色豊かな観客で埋め尽くされ375,000人もの人々が世界最高峰のプレーや演技に魅了された10日間となり、70カ国でのテレビ放送やolympics.comによるオンラインストリーミングなどを通じて世界の国々でワールドゲームズが視聴されました。

これら大会成功の陰にはホスピタリティ溢れるボランティアの存在が大きく、今大会でも重要な役割を果たされました。スポーツを通じて、人と人、国と国との交流が始まり、深まることは大変意義深く、喜ばしいことです。コロナ禍でさまざまな制約がある中でしたが、今回のワールドゲームズもこれらを象徴する素晴らしい大会となりました。

今後もワールドゲームズが、スポーツの持つ魅力や意義・価値といったものを広く発信し、スポーツを通じた世界平和の一翼を担う存在であり続けることを願いますとともに、当協会もこのたび連携協定（MOU）を締結しましたIWGAをはじめ、関係の皆さま方とともにワールドゲームズの理念を追い求め、日本国内での普及・振興に微力ながら努めて参りたいと存じます。

次回の第12回大会は2025年8月、人口2,000万人の中国・成都市（四川省）で開催される予定です。2001年秋田大会（日本）、2009年高雄大会（チャイニーズタイペイ）に続きアジア地域で3回目の開催となります。現地では2年半後の開催に向け着々と準備が進んでいるようです。今後ともワールドゲームズの諸活動に対し、尚一層のご指導ご鞭撻、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げ、甚だ簡単ではございますが第11回大会の終了に伴うご挨拶とさせていただきます。

赤木恭平

ワールドゲームズとは

ワールドゲームズとはオリンピックに採用されていない競技種目の国際総合競技大会です。国際ワールドゲームズ協会（IWGA: International World Games Association）主催、国際オリンピック委員会（IOC）後援で4年に一度、夏季オリンピック・パラリンピック競技大会の翌年に開催されます。実施される競技種目は、IWGA加盟競技団体からの申請をもとにIWGA理事会（Executive Committee）が、オリンピック競技大会に採用されてない競技種目で、開催地の既存競技施設で実施可能であること、世界的に普及しており世界選手権大会が定期的に行われていることなどを基本条件に大会開催の3年前までに決定します。

IWGAへの加盟条件は、IOC承認競技団体か非オリンピック競技種目の世界選手権大会を統括している夏季・冬季オリンピック競技団体であることで、2015年時点で既にIWGAに加盟している団体は例外とされています。

今までに、ワールドゲームズ競技種目の中から11競技種目（バドミントン、野球、ソフトボール、テコンドー、ビーチバレーボール、女子ウエイトリフティング、トライアスロン、7人制ラグビー、ローラースポーツ<スケートボード>、スポーツクライミング、サーフィン）がオリンピック公式競技種目に採用さており、2020年東京オリンピックの追加競技種目となった5競技（野球・ソフトボール、空手、ローラースポーツ<スケートボード>、スポーツクライミング、サーフィン）と2024年パリオリンピックの追加競技種目になったダンススポーツ（ブレイクダンス）は、すべてIWGA加盟競技です。このようにワールドゲームズはオリンピックと密接に関係しています。

4年毎に開催されるワールドゲームズ大会は、世界最高レベルという基準で各競技の国際スポーツ連盟（IF）によって選ばれた選手たちにより、約10日間にわたって熱戦が繰り広げられます。大会の特徴は、施設建設に巨額の費用を要するオリンピックとは異なり、選手村を作らず選手は既存の宿泊施設に競技別に宿泊します。また、競技は既存の施設で開催できる競技種目のみで実施するため、大変少ない費用で開催できることです。

表彰式では金、銀、銅のメダル授与、国旗掲揚は行われますが、行き過ぎた国威発揚や勝利偏重主義は抑えられていることも特徴のひとつです。また大会期間中、大会参加者が一堂に集える『アスリートナイト』を開催し、参加者の交流を深める機会を設けています。

IWGA加盟団体競技（アルファベット順）

合気道	体操※1	ラケットボール
エアースポーツ	ハンドボール※1	ローラースポーツ※1、※2
アーチェリー※1	ホッケー※1	ラグビー※1
ビリヤード	柔術	サンボ
ボディビルディング	空手※2	ソフトボール※2
ブールスポーツ	キックボクシング	スポーツクライミング※1、※2
ボウリング	コーフボール	スカッシュ
カヌー※1	ラクロス	相撲
キャスティング	ライフセービング	サーフィン※1
ダンススポーツ※3	ムエタイ	綱引
フィストボール	ネットボール	水中スポーツ
フロアボール	オリエンテーリング	水上スキー・ウエイクボード
フライングディスク	パワーリフティング	武術

（※1）夏季オリンピック競技　（※2）2020五輪追加競技　（※3）2024五輪追加競技　　2022年5月現在／39競技

※ワールドゲームズは、オリンピック競技であっても、その「種目」がオリンピックに採用されていなければ、4年に一度のワールドゲームズ大会でその種目を実施することが可能となっています。また、その競技団体はIWGAに加盟することができます。

公式・公開競技の変遷

＊体操競技は種目名で記載

開催年	1981 第1回	1985 第2回	1989 第3回	1993 第4回	1997 第5回	2001 第6回	2005 第7回	2009 第8回	2013 第9回	2017 第10回	2022 第11回	2025 第12回
開催地	アメリカ・サンタクララ	イギリス・ロンドン	旧西ドイツ・カールスルーエ	オランダ・ハーグ	フィンランド・ラハティ	日本・秋田	ドイツ・デュイスブルク	チャイニーズタイペイ・高雄	コロンビア・カリ	ポーランド・ヴロツワフ	アメリカ・バーミングハム	中国・成都
参加選手数	1,265名	1,550名	1,965名	2,275名	1,725名	2,193名	3,205名	2,908名	2,929名	3,214名	3,457名	–
参加国・地域数	9	57	49	49	75	93	93	84	98	102	99	–
公式競技	15競技	20競技	17競技	21競技	23競技	22競技	26競技	26競技	26競技	27競技	30競技	–
エアースポーツ					●	●	●	●	●	●	●	
アーチェリー（フィールドアーチェリー）		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
バドミントン	●											
野球	●											
ソフトボール	●	●									●	
ビーチバレーボール					●							
ビリヤード						●	●	●	●	●	●	
ボディビルディング	●	●	●	●	●	●	●	●				
ブールスポーツ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
ボウリング	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
カヌー（カヌーポロ）							●	●	●	●	●	
キャスティング	●	●	●	●	●	●	●					
ダンススポーツ					●	●	●	●	●	●	●	
フィストボール		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
フロアボール										●	●	
フライングディスク						●	●	●	●	●	●	
アクロバット体操＊				(●)		(●)	(●)	(●)	(●)	(●)	(●)	
エアロビック＊					(●)	(●)	(●)	(●)	(●)	(●)	(●)	
パルクール＊											(●)	
新体操種目別＊						(●)	(●)	(●)	(●)	(●)	(●)	
トランポリン＊	●	●	●	●	●	(●)	(●)	(●)	(●)	(●)	(●)	
タンブリング＊	(●)	(●)	(●)	(●)	(●)	(●)	(●)	(●)	(●)	(●)	(●)	
ハンドボール（ビーチハンドボール）									●	●	●	
柔術					●	●	●	●	●	●	●	
空手	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
キックボクシング											●	
コーフボール		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
ラクロス										●	●	
ライフセービング		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
ムエタイ										●	●	
ネットボール		●	●	●	●							
オリエンテーリング						●	●	●	●	●	●	
パワーリフティング	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
ラケットボール	●	●		●				●	●		●	
ローラースポーツ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
ラグビー（7人制）						●	●	●	●			
サンボ		●		●								
スポーツクライミング							●	●	●	●	●	
スカッシュ					●		●	●	●	●	●	
相撲							●	●	●	●	●	
テコンドー	●	●	●	●								
トライアスロン				●								
綱引	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
水中スポーツ（フィンスイミング）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
水上スキー・ウエイクボード	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
ウエイトリフティング（女子）					●							
公開競技	なし	なし	3競技	4競技	5競技	5競技	6競技	5競技	4競技	4競技	5競技	–
合気道			●	●	●	●	●					
アメリカンフットボール			●				●			●		
（フラッグフットボール）											●	
バーンゴルフ			●									
ボールリヨネーズ					●							
カヌー（カヌーマラソン）									●			
ドラゴンボート							●	●				
馬術（ボルティング）				●								
フロアボール					●							
ゲートボール						●						
ハンドボール（ビーチハンドボール）						●	●	●				
インドアホッケー							●					
インドアローイング										●		
キックボクシング										●		
ラクロス（男子）											●	
ミリタリーペンタスロン					●							
モーターサイクリング							●					
ペサパロ					●							
ソフトボール								●	●			
スピードウェイ										●		
相撲						●						
チュックボール								●				
トライアスロン（デュアスロン）									●		●	
綱引（女子）				●		●						
水上スキー（ベアフット）				●								
車いすラグビー											●	
武術								●	●		●	

公開競技はIWGAと開催都市で決定されます。開催都市の国や地域で盛んなスポーツや伝統スポーツなどが実施されます。
＊の体操競技6種目は種目名で掲載（トランポリンは1999年まで単独競技（IF）として実施。※タンブリングはその種目の1つとして実施）

バーミングハム大会 開催日程

2022 BIRMINGHAM, USA

開催都市　アメリカ合衆国　バーミングハム市
開催期間　2022.7.7-17

開催競技	7 木	8 金	9 土	10 日	11 月	12 火	13 水	14 木	15 金	16 土	17 日
開会式／閉会式	●										●
公式競技（30競技）											
エアースポーツ			●	●	●						
アーチェリー（フィールド）		●	●	●	●	●	●	●	●		
ビリヤード							●	●	●	●	●
ブールスポーツ						●	●				
ボウリング		●	●	●	●						
カヌー（ポロ・マラソン）				●	●	●		●	●	●	●
ダンススポーツ		●	●	●							
フィストボール				●	●	●	●	●			
フロアボール		●	●	●	●	●					
フライングディスク						●	●	●	●	●	
体操（アクロバット体操）									●	●	●
体操（エアロビック）						●	●				
体操（パルクール）				●	●						
体操（新体操）						●	●				
体操（トランポリン）									●		●
体操（タンブリング）										●	●
ハンドボール（ビーチ）					●	●	●	●	●		
柔術									●	●	
空手		●	●								
キックボクシング							●	●			
コーフボール							●	●	●	●	●

開催競技	7 木	8 金	9 土	10 日	11 月	12 火	13 水	14 木	15 金	16 土	17 日
ラクロス（女子）						●	●	●	●	●	
ライフセービング				●	●						
ムエタイ									●	●	●
オリエンテーリング									●	●	●
パワーリフティング		●	●	●							
ラケットボール				●	●	●	●				
ローラースポーツ		●	●	●	●	●				●	●
ソフトボール			●	●	●	●	●				
スポーツクライミング								●	●	●	
スカッシュ								●	●	●	●
相撲			●	●							
綱引								●	●	●	
水中スポーツ（フィンスイミング）		●	●								
水上スキー・ウエイクボード								●	●	●	
公開競技（5競技）											
アメリカンフットボール（フラッグフットボール）				●	●	●	●	●			
ラクロス（男子）		●	●	●	●	●					
トライアスロン（デュアスロン）										●	●
車いすラグビー								●	●	●	●
武術						●	●				

● 開催日　日本人選手参加競技

about Birmingham

バーミングハム市は、アメリカ合衆国アラバマ州最大の都市で、アパラチア山脈の南端にあります。サンベルトと呼ばれる、緑豊かで美しい地域で、全米の「住みやすい都市ベスト10」にも選ばれたことがあります。また、アメリカ南東部における最も重要なビジネスセンターであり、同時にアメリカ最大の銀行業の中心地のひとつとして発展しています。

● 人口：21万人　● 日本との時差：－14時間

各国参加選手数・メダル獲得数一覧

99の国と地域から、3,457人の選手が大会に参加。そのうち、73の国と地域がメダルを獲得しました。

順位	国名	参加選手	金	銀	銅	メダル計
1	イタリア	185	13	24	12	49
2	ドイツ	237	24	7	16	47
3	ウクライナ	105	16	12	17	45
4	アメリカ	340	16	18	10	44
5	フランス	167	11	15	16	42
6	日本	※138	10	11	12	33
7	ハンガリー	59	11	7	9	27
8	コロンビア	70	9	10	6	25
9	ベルギー	77	11	4	5	20
10	スペイン	57	6	6	7	19
11	カナダ	132	5	5	5	15
11	ポーランド	71	3	5	7	15
13	中国	40	9	4	1	14
13	イスラエル	51	7	3	4	14
13	スウェーデン	56	3	6	5	14
16	チャイニーズタイペイ	74	1	6	6	13
16	イギリス	110	6	3	4	13
18	メキシコ	78	5	2	5	12
18	スイス	102	5	4	3	12
20	デンマーク	44	4	3	3	10
20	オランダ	79	3	3	4	10
22	タイ	32	4	3	2	9
23	アラブ首長国連邦	13	2	1	5	8
23	ブラジル	74	2	1	5	8
23	ギリシア	15	1	3	4	8
23	韓国	30	1	3	4	8
27	クロアチア	21	2	5	0	7
28	オーストラリア	98	3	1	2	6
28	チェコ	87	0	3	3	6
28	エジプト	21	3	2	1	6
31	香港	17	1	0	4	5
31	インドネシア	6	2	3	0	5
31	ノルウェー	28	2	2	1	5
31	ポルトガル	47	1	3	1	5
31	セルビア	5	2	2	1	5
31	スロベニア	18	1	1	3	5
37	オーストリア	72	2	1	1	4
37	エクアドル	13	1	0	3	4
37	カザフスタン	16	1	2	1	4
37	モロッコ	10	0	4	0	4
37	スロバキア	12	1	1	2	4
37	ヴァージン諸島	9	0	3	1	4
43	アルゼンチン	46	0	1	2	3
43	ブルガリア	10	1	1	1	3
43	チリ	28	0	2	1	3
43	ニュージーランド	46	1	1	1	3
43	ルーマニア	21	0	1	2	3
43	シンガポール	15	0	1	2	3
43	ベネズエラ	15	0	2	1	3
50	アゼルバイジャン	15	1	0	1	2

順位	国名	参加選手	金	銀	銅	メダル計
50	ブルネイ	2	1	1	0	2
50	カンボジア	2	2	0	0	2
50	フィンランド	37	0	1	1	2
50	キルギス	2	0	1	1	2
50	リトアニア	11	1	0	1	2
50	マレーシア	5	0	0	2	2
50	ウズベキスタン	5	0	1	1	2
50	ベトナム	5	2	0	0	2
59	アルジェリア	1	1	0	0	1
59	バーレーン	3	0	1	0	1
59	ボリビア	2	0	0	1	1
59	ボスニア・ヘルツェゴビナ	3	0	1	0	1
59	コスタリカ	9	1	0	0	1
59	グアテマラ	6	0	1	0	1
59	インド	10	0	0	1	1
59	モルドバ	2	1	0	0	1
59	モンゴル	7	0	1	0	1
59	パナマ	26	0	0	1	1
59	ペルー	4	0	1	0	1
59	フィリピン	9	1	0	0	1
59	カタール	12	0	1	0	1
59	南アフリカ	21	1	0	0	1
59	チュニジア	1	0	0	1	1
—	アフガニスタン	3	0	0	0	0
—	アルバ	2	0	0	0	0
—	キューバ	1	0	0	0	0
—	ドミニカ	2	0	0	0	0
—	エルサルバドル	2	0	0	0	0
—	エストニア	8	0	0	0	0
—	ジョージア	1	0	0	0	0
—	アイスランド	4	0	0	0	0
—	アイルランド	8	0	0	0	0
—	イロコイ連邦	24	0	0	0	0
—	ヨルダン	3	0	0	0	0
—	クウェート	4	0	0	0	0
—	ラトビア	33	0	0	0	0
—	ルクセンブルク	1	0	0	0	0
—	モーリシャス共和国	2	0	0	0	0
—	モンテネグロ	3	0	0	0	0
—	ナミビア	1	0	0	0	0
—	ネパール	2	0	0	0	0
—	北マケドニア	2	0	0	0	0
—	パキスタン	1	0	0	0	0
—	パラグアイ	2	0	0	0	0
—	プエルトリコ	31	0	0	0	0
—	セネガル	1	0	0	0	0
—	スリナム	14	0	0	0	0
—	トルコ	3	0	0	0	0
—	ウルグアイ	2	0	0	0	0
合計		3,457	224	221	222	667

※JWGA非加盟団体競技含む数（1競技1名）

出典：https://twg2022.com/results/

The World Games 2022 BIRMINGHAM

エアースポーツ
アーチェリー（フィールド）
ビリヤード
プールスポーツ
ボウリング
カヌー（ポロ・マラソン）
ダンススポーツ
フィストボール
フロアボール
フライングディスク
体操
ハンドボール（ビーチ）
柔術
空手
キックボクシング
コーフボール

公式競技 30

ラクロス（女子）
ライフセービング
ムエタイ
オリエンテーリング
パワーリフティング
ラケットボール
ローラースポーツ
ソフトボール
スポーツクライミング
スカッシュ
相撲
綱引
水中スポーツ（フィンスイミング）
水上スキー・ウエイクボード

国際ワールドゲームズ協会（IWGA）の加盟競技の中から実施される公式競技。
第11回大会では30競技が実施され、日本からは17競技に103名の選手が参加しました。

エアースポーツ
AIR SPORTS
［ドローンレーシング/パラシューティング］

参加選手 65 ／ 参加国 27
AUS BEL CHN CZE DEN ESP FIN FRA GER HKG HUN ITA JPN KOR LAT LTU MKD NZL POL RSA SVK SWE THA TPE UAE UKR USA

エアースポーツ（航空スポーツ）競技は大空をフィールドにグライダー、ドローン、パラグライダーを操縦し飛行速度や距離、着陸の正確さを競ったり、パラシューティング（スカイダイビング）を行い、上空での演技の出来栄えやフォーメーションの数などを競います。バーミングハム大会では、飛行機から飛び出した後、パラシュートを用いて飛行速度や着陸の正確さを競うパラシューティング・キャノピーパイロティング種目と、ドローンから送られる映像を専用ゴーグルで見ながらラジコンで操縦し、コース周回の時間を競うドローンレーシング種目が実施されました。

参加選手
Ⓜ **上関 風雅**（14）カミゼキ フウガ　埼玉県出身　初参加 | 種目 | ドローンレーシング 6位
Ⓦ **齋藤 三佳**（27）サイトウ ミカ　福岡県出身　初参加 | 種目 | ドローンレーシング 24位

アーチェリー
ARCHERY
［フィールド/ターゲット］

参加選手 97 ／ 参加国 35
AUS AUT BEL CAN CHI COL CRO CZE DEN ESA ESP EST FIN FRA GBR GER HUN IND IRL ITA JPN KAZ KOR MEX NED NOR NZL POL PUR RSA SLO SUI SVK SWE USA

標的は直径20cm、40cm、60cm、80cmの4種類の大きさで、弓の種類により「ベアボウ」「リカーブ」「コンパウンド」の3部門に分けられ、距離が表示されているマークドコースと表示されていないアンマークドコースを3射ずつ行射し、ゴルフのようにラウンドして、最短5mから最長60mの間で設置された的を射て、的に当たった矢の得点を競います。

参加選手
Ⓜ **大貫 渉**（28）オオヌキ ワタル　神奈川県出身　2回目 | 種目 | 男子リカーブ 7位

ビリヤード
BILLIARD
［キャロム/プール/スヌーカー］

参加選手 64 ／ 参加国 35
ARG AUT BEL BIH BRA BRN CAN COL CRC ECU EGY ESP GBR GER HKG IND ITA JPN KOR KUW NED NZL PAK PER PHI POL QAT RSA SGP SWE THA TPE TUR USA VIE

球を投げたり打ったりするスポーツは数多くありますが、キューステックを使って球を「撞く」のはビリヤードだけです。そのため現在ではキュー・スポーツとも呼ばれており、幅広い年齢層に親しまれています。競技は大きく分けて「キャロム」「プール（ポケット）」「スヌーカー」の3種目があります。

参加選手
Ⓦ **平口 結貴**（24）ヒラグチ ユウキ　北海道出身　初参加 | 種目 | 女子プール 3位 銅
Ⓜ **船木 耕司**（51）フナキ コウジ　宮城県出身　初参加 | 種目 | 男子キャロム 準々決勝敗退

ブールスポーツ
BOULES SPORTS
［リヨネーズ/ペタンク］

参加選手 30 | 参加国 15

ARG BEL CAM CAN CHI CRO DEN FRA
GER ITA MAR SLO SRB THA USA

ワールドゲームズでは「スポールブール」と「ペタンク」が実施されます。スポールブール種目では、コート内を走りながら、自分のボールを目標球に投げ当てるティールゲームが行われます。ペタンク種目では平坦なコートで目標球に金属球を近づけあう球技で、ときには邪魔な相手球を弾き出して得点を競います。

ボウリング
BOWLING
［テンピン］

参加選手 64 | 参加国 22

ARU AUS CAN CHN COL CRC CZE DEN FRA GER ITA
KOR KUW MAS MEX NED PUR RSA SGP SWE TPE USA

ワールドゲームズでは日本でもなじみの深い「テンピンボウリング」が行われます。10本のピンを目がけてボールを転がし、倒れたピンの本数でスコアを競うスポーツです。1ゲーム10フレームで構成され、1フレームに2回まで投げることができます。（※第10フレームは3回まで）種目は男女別で「ダブルス」「シングルス」が行われます。

カヌー
CANOE
［ポロ・マラソン］

参加選手 167 | 参加国 25

ARG BEL CHI CZE DEN ESP FRA GBR GER HUN IRL ITA JPN
NED NOR NZL POL POR RSA SGP SVK SWE TPE UKR USA

カヌーマラソンは、1周約2kmの周回コースを10周漕ぎ切る競技です。1周ごとにポーテージという陸走エリアに上がり、艇を持ちながら走り抜け、再び水上でパドリングを行います。カヌーポロは、水上2メートルに設置されている相手チームのゴールにボールを入れて点数を競う競技です。ボールを持っているプレーヤーの体を押すことができるなど、エキサイティングな競技です。

参加選手

Ⓜ **ギョコス ラヨッシュ**（42） ハンガリー出身 初参加 | 種目 | 男子カヌーマラソンK1／スタンダードディスタンス 10位／ショートディスタンス 11位

Ⓦ **渡邉 えみ里**（25）ワタナベ エミリ 山梨県出身 初参加 | 種目 | 女子カヌーマラソンK1／スタンダードディスタンス 17位／ショートディスタンス 18位

ダンススポーツ
DANCE SPORT
［ブレイキン/ラテン/スタンダード/ロックンロール］

	参加選手	参加国
スタンダード・ラテン・ロックンロール	104	25
ブレイキン	32	17

AUS AUT BEL BRA CAN CHI CHN CRO CZE DEN ESP EST FIN FRA GER HUN ISL
ISR ITA JPN KAZ KOR LTU MDA MEX NED NOR POL ROU SLO SUI UKR USA

現在、映画やテレビなどを通して、愛好者が急増中のスポーツです。初心者から楽しめますが、上級者になるためには、高度の技術と肉体的鍛錬、長期の指導が要求されます。種目としては、「スタンダード」、「ラテン」や「ブレイクダンス」、「ロックンロール」、「サルサ」、「車いすダンス」、「カントリー&ラインダンス」があります。

参加選手

Ⓦ **大西 咲菜**（20）オオニシ サキナ 富山県出身 初参加 | 種目 | スタンダード 18位

Ⓜ **大西 大晶**（23）オオニシ ヒロアキ 富山県出身 初参加 | 種目 | スタンダード 18位

Ⓜ **半井 重幸**（20）ナカライ シゲユキ 大阪府出身 初参加 | 種目 | ブレイキンB-Boys 3位 銅

Ⓦ **福島 あゆみ**（39）フクシマ アユミ 京都府出身 初参加 | 種目 | ブレイキンB-Girls 3位 銅

Ⓦ **湯浅 亜実**（23）ユアサ アミ 埼玉県出身 初参加 | 種目 | ブレイキンB-Girls 1位 金

フィストボール
FISTBALL

参加選手 138 | 参加国 9

ARG AUT BRA CHI GER ITA NZL SUI USA

バレーボールの前身といわれており、5人対5人で芝生のコート（50m×20m）で高さ2mのストリング（ひも）をはさみ、得点を競います。相手が3打以内で返球できない場合は得点1となり、1セット20点、3セットマッチで2セット取れば勝ちです。ボールを片手で打つこと、1バウンドまではOKというところが特徴です。

フロアボール
FLOORBALL

参加選手 112 | 参加国 8

CAN CZE FIN LAT SUI SWE THA USA

ボードで囲まれた40m×20mの室内リンクで行われるチーム制の球技です。1チーム、1人のゴールキーパーと5人のフィールド・プレーヤーで構成され、穴のあいたプラスチック製のボールを相手チームのゴールに入れて得点を競います。試合時間は1ピリオド20分間で3ピリオド行われます。

フライングディスク
FLYING DISC
［アルティメット］

参加選手 117 | 参加国 8

AUS CAN COL FRA GBR GER JPN USA

プラスチック製ディスクを使う12種目の総称で、IOC・IPC承認競技です。2001年秋田WG以来、7人でディスクをパスで運び、敵陣エンドゾーン内でディスクキャッチすると得点となるセルフジャッジ制団体種目「アルティメット」（中学校学習指導要領掲載）が公式種目です。（TWG2001年銅・2009年銀メダル獲得）

参加選手

M	浅田 一輝	(28) アサダ カズキ　大阪府出身	初参加	種目	アルティメット・ミックス 5位
M	荒川 太陽	(32) アラカワ タイヨウ　愛知県出身	初参加	種目	アルティメット・ミックス 5位
W	稲村 知子	(32) イナムラ トモコ　大阪府出身	2回目	種目	アルティメット・ミックス 5位
W	今西 叶莉	(23) イマニシ カナリ　兵庫県出身	初参加	種目	アルティメット・ミックス 5位
M	奥村 陽平	(24) オクムラ ヨウヘイ　愛知県出身	初参加	種目	アルティメット・ミックス 5位
W	樫野 優子	(32) カシノ ユウコ　広島県出身	2回目	種目	アルティメット・ミックス 5位
M	北尾 宗章	(24) キタオ ヒロアキ　大阪府出身	初参加	種目	アルティメット・ミックス 5位
M	芝 圭一郎	(34) シバ ケイイチロウ　和歌山出身	2回目	種目	アルティメット・ミックス 5位
W	高田 舞雪加	(22) タカダ マユカ　埼玉県出身	初参加	種目	アルティメット・ミックス 5位
W	田島 美和	(25) タジマ ミワ　神奈川県出身	初参加	種目	アルティメット・ミックス 5位
W	中山 侑香	(24) ナカヤマ ユウカ　佐賀県出身	初参加	種目	アルティメット・ミックス 5位
W	野口 可奈	(30) ノグチ カナ　東京都出身	2回目	種目	アルティメット・ミックス 5位
M	本名 拓	(30) ホンナ タク　福島県出身	2回目	種目	アルティメット・ミックス 5位
M	松野 政宏	(38) マツノ マサヒロ　大阪府出身	3回目	種目	アルティメット・ミックス 5位
M	村岡 彰文	(28) ムラオカ アキフミ　埼玉県出身	初参加	種目	アルティメット・ミックス 5位
W	吉田 楓	(26) ヨシダ カエデ　東京都出身	初参加	種目	アルティメット・ミックス 5位

体操（アクロバット体操）
GYMNASTICS (ACROBATIC)

参加選手 72 | 参加国 12

AUS BEL ESP GBR GER ISR KAZ NED POL POR UKR USA

バレエやダンスのように繊細で優雅な動きとその対極にある鋼のような力強さ、さらには極限にまで追求された柔軟性が組み合わされ、人間技とは思えない演技が繰り広げられます。

体操（エアロビック）
GYMNASTICS (AEROBIC)

参加選手 81 | 参加国 11

AZE BRA BUL EGY FIN FRA HUN ITA POR ROU UKR

「エアロビクス」を起源とし、その後に派生したエアロビックダンスが競技として発展したスポーツです。演技は、リズミカルで連続的な動きの表現が重視されます。音楽と同調した軽快なステップや柔軟性や筋力を必要とする難度エレメントをバランスよく盛り込んでいなければなりません。

体操（パルクール）
GYMNASTICS (PARKOUR)

参加選手 17 | 参加国 13

AUS BEL BUL CZE ESP GBR GRE ITA JPN NED SWE UKR USA

スタートからゴールまでに設置された障害物を超えタイムを競います。日本を含め世界中でさまざまなスタイルで実践されており、パルクールの捉え方は多岐に渡ります。

参加選手

Ⓦ **泉 ひかり** (26) イズミ ヒカリ　大阪府出身　初参加 | 種目 | 女子スピード 3位銅／女子フリースタイル 3位銅

Ⓜ **勝乗 志音** (22) カツノリ シオン　広島県出身　初参加 | 種目 | 男子スピード 7位／男子フリースタイル 4位

体操（新体操）
GYMNASTICS (RHYTHMIC)

参加選手 24 | 参加国 18

AUS AZE GEO BRA BUL ESP FIN HUN ISR ITA JPN KOR ROU RSA SLO UKR USA UZB

さまざまな手具を用いて、モダンバレエの要素を取り入れた演技を行い、手具操作の巧みさと芸術性を競います。オリンピックでは「団体」と「個人・総合」が行われ、ワールドゲームズでは「個人・種目別」を実施します。

参加選手

Ⓦ **鈴木 菜巴** (17) スズキ ナルハ　兵庫県出身　初参加 | 種目 | 個人競技　ボール 20位、クラブ 10位、ループ 13位、リボン 10位

Ⓦ **田口 久乃** (15) タグチ ヒサノ　千葉県出身　初参加 | 種目 | 個人競技　ボール 14位、クラブ 21位、ループ 19位、リボン 18位

体操（トランポリン）
GYMNASTICS (TRAMPOLINE)

参加選手 20 | 参加国 12

ARG AUS CAN ESP GBR GER JPN NED NZL POR SWE USA

トランポリンの弾性を利用して空中高く飛び上がり、宙返りと捻りを複合した技を10回連続して演技します。演技の美しさや、技の難度によって勝敗を競います。種目は2台のトランポリンを平行に置いて、2人で構成されたチームが同時に競技を行う「シンクロ」と「ダブルミニ」が行われます。

参加選手

Ⓜ **谷口 遼平** (27) タニグチ リョウヘイ　静岡県出身　初参加 | 種目 | 男子ダブルミニトランポリン 3位銅

体操（タンブリング）
GYMNASTICS (TUMBLING)

参加選手 22 | 参加国 11

AUS BEL CAN DEN FRA GBR JPN POL POR UKR USA

長さ40m、幅1.5mのタンブリング専用台の上で、途中で中断したりステップを入れたりすることなく、連続して宙返りや側転、バック転などの多様な技をスピーディーかつリズミカルに行う競技です。

参加選手

- Ⓦ **北折 愛里** (19) キタオリ エリ　愛知県出身　初参加 | 種目 | 女子タンブリング 5位
- Ⓜ **又吉 健斗** (21) マタヨシ ケント　沖縄県出身　初参加 | 種目 | 男子タンブリング 4位

ハンドボール
HANDBALL (BEACH)
[ビーチ]

参加選手 130 | 参加国 11

ARG AUS BRA CRO GER MEX NZL NOR PUR QAT USA

浜辺で行うハンドボールです。屋内でのハンドボールとはルールが異なり、砂浜ならではのプレーが魅力です。27m×12mの砂浜のコートで、前半・後半10分、4人対4人で得点を競うスポーツです。ヨーロッパ、中東、南米で盛んに行われており、ユースオリンピックの公式競技としても採用されています。

柔術
JU-JITSU

参加選手 96 | 参加国 36

AUT BEL BRN CAN COL DEN FRA GER GRE HUN ISR ITA JOR KAZ KGZ MAR MEX MNE
MRI NED PAN PHI POL ROU SGP SLO SRB SUI SWE THA TPE UAE UKR URU USA UZB

日本古来の徒手や短い武器を使った攻防の技法を中心としたスポーツです。柔術関連の流派は500ほどありますが、唯一競技として国際ルールに則り、試合を実施しているのがこの柔術競技で、突き、蹴り、関節技、投げ技などで勝敗を競う格闘系と、2人1組で決められた攻撃の形に対する防御の形を競う演武系があります。

空手
KARATE

参加選手 94 | 参加国 41

ALG AUS AUT AZE BEL BRA BUL CAN CHI CRO CZE EGY ESP FIN FRA GER GRE HKG HUN ITA JPN
KAZ KUW LAT LUX MAR MKD NED NZL PAN PER PHI SUI SVK SWE TPE TUN UKR USA UZB VEN

空手競技は「形」と「組手」の2つの競技があります。形は、相手の動きを想定して構成され創られたものを演武し正確さ、力強さ、スピード、リズム、バランス等を競います。組手は、2人の選手が互いに目標部位に突き・蹴り・打ち等の技を使い、攻防を競います。相手の攻撃部位に当てず、直前でコントロールし、技を正確に決めるところに醍醐味があります。

参加選手

- Ⓦ **大野 ひかる** (29) オオノ ヒカル　大分県出身　初参加 | 種目 | 女子個人形 2位 銀
- Ⓜ **中野 壮一朗** (24) ナカノ ソウイチロウ　京都府出身　初参加 | 種目 | 男子組手67kg級 5位
- Ⓦ **宮原 美穂** (25) ミヤハラ ミホ　福岡県出身　2回目 | 種目 | 女子組手50kg級 3位 銅
- Ⓜ **本 一将** (26) モト カズマサ　千葉県出身　初参加 | 種目 | 男子個人形 1位 金

キックボクシング
KICKBOXING

参加選手 48 | 参加国 28

AUT AZE BEL BIH BRA BUL CAN CRO CZE FIN GER HUN ISR ITA
KAZ KGZ LTU MEX NED POL POR ROU SLO SRB SVK UKR USA VEN

ローキックや肘打ち、ボディ・顔面への膝蹴りが認められているボクシングです。試合時間は3分1ラウンドで1分のインターバルを挟み3〜5ラウンド行われ、相手をダウンさせて10カウントを奪うとノックアウト勝ち、最終ラウンドまで両者がノックアウトされなかった場合は判定で勝敗が決められます。

コーフボール
KORFBALL

参加選手 110 | 参加国 8

BEL CHN CZE GER NED POR SUR TPE

「コーフ」とはオランダ語で「バスケット」を意味し、リング状のバスケットにボールを投げ入れて得点を競います。1チーム8人で男女混合、30分ハーフで行われます。シュートはどこからでも打つことができ、ドリブルが禁止のためパス中心のゲーム展開になります。また異性をマークしたり接触プレーも禁止されています。

ラクロス（女子）
LACROSSE (WOMEN)

参加選手 96 | 参加国 8

AUS CAN CZE GBR HNL ISR JPN USA

クロスと呼ばれる先に網の付いたスティックを用いて、直径6cm・重さ150gの硬質ゴム製のボールを奪い合い、相手陣のゴールにシュートし得点を競う北米インディアン発祥のスポーツです。カナダの国技でもあり、現在世界60数カ国で普及し、4年に一度、ワールドカップが開催されています。日本の競技人口は約5万人。今大会から、男子ラクロスも公開競技として実施されました。

参加選手

Ⓦ 井田 ほのか	(22) イダ ホノカ 京都府出身	初参加	種目	6位
Ⓦ 井上 果歩	(26) イノウエ カホ 茨城県出身	2回目	種目	6位
Ⓦ 岩田 菜央美	(26) イワタ ナオミ 神奈川県出身	2回目	種目	6位
Ⓦ 河合 寧々	(20) カワイ ネネ 東京都出身	初参加	種目	6位
Ⓦ 小瀬 かなえ	(22) コゼ カナエ 東京都出身	初参加	種目	6位
Ⓦ 小林 遥佳	(23) コバヤシ ハルカ 京都府出身	初参加	種目	6位
Ⓦ 竹本 萌優	(25) タケモト モユ 京都府出身	2回目	種目	6位
Ⓦ 田中 希実	(26) タナカ ノゾミ 埼玉県出身	2回目	種目	6位
Ⓦ 富田 真世	(33) トミタ マヨ 福岡県出身	初参加	種目	6位
Ⓦ 冨森 美帆	(21) トミモリ ミホ 神奈川県出身	初参加	種目	6位
Ⓦ 中澤 ねがい	(18) ナカザワ ネガイ 神奈川県出身	初参加	種目	6位
Ⓦ 藤村 麻伊	(21) フジムラ マイ 神奈川県出身	初参加	種目	6位

ライフセービング
LIFE SAVING
［プール］

参加選手 99 | 参加国 9
BEL DEN ESP FRA GER HUN ITA JPN POL

「ライフセービング」とは水難事故防止活動のことです。ライフセービング競技は事故が起きたときに必要な救助技術を競うスポーツで、自らの楽しみや体力向上などの目的ばかりでなく、実際の救助活動で「命を守る」という社会貢献的な目的のために行うスポーツです。ワールドゲームズではプール競技が行われます。

参加選手

M	安藤 秀 (31) アンドウ スグル 大阪府出身	2回目	種目	4×50m男子障害物リレー 3位(銅)／4×50m男子メドレーリレー 5位
M	板場 貴大 (21) イタバ タカヒロ 東京都出身	初参加	種目	4×50m男子障害物リレー 3位(銅)／4×50m男子メドレーリレー 5位
W	伊藤 若菜 (23) イトウ ワカナ 東京都出身	初参加	種目	4×50m女子障害物リレー 6位／4×50m女子メドレーリレー 6位
M	髙須 快晴 (21) タカス ヨシハル 神奈川県出身	初参加	種目	4×50m男子障害物リレー 3位(銅)／4×50m男子メドレーリレー 5位
W	名須川 紗綾 (30) ナスカワ サアヤ 神奈川県出身	2回目	種目	4×50m女子障害物リレー 6位／4×50m女子メドレーリレー 6位
M	西山 俊 (33) ニシヤマ シュン 神奈川県出身	2回目	種目	4×50m男子メドレーリレー 5位／4×25m男子マネキンリレー 6位
W	平井 葉子 (21) ヒライ ハコ 神奈川県出身	初参加	種目	4×50m女子障害物リレー 6位／4×50m女子メドレーリレー 6位
M	平野 修也 (36) ヒラノ ナオヤ 東京都出身	2回目	種目	4×50m男子障害物リレー 3位(銅)／4×25m男子マネキンリレー 6位
W	八木 愛海 (22) ヤギ マナミ 東京都出身	初参加	種目	4×25m女子マネキンリレー 8位
W	山岸 夢 (24) ヤマギシ ノゾミ 東京都出身	初参加	種目	4×50m女子障害物リレー 6位／4×50m女子メドレーリレー 6位

ムエタイ
MUAYTHAI

参加選手 84 | 参加国 33
AFG AUS AUT CAN CZE ESP FIN FRA GBR GER GRE HKG HUN ISR ITA JOR KAZ
KOR MAR MEX MRI PER PHI POL POR SVK SWE THA UAE UKR USA UZB VIE

キックボクシングと似たタイ発祥のスポーツです。キックボクシングよりも蹴りが多いことが特徴です。3分1ラウンドで2分のインターバルを挟み通常5ラウンド行われ、相手をダウンさせ10カウントを奪うとノックアウト勝ち、最終ラウンドまで両者がノックアウトされなかった場合は判定で勝敗が決められます。

オリエンテーリング
ORIENTEERING

参加選手 77 | 参加国 24
AUS AUT BEL BRA CAN CZE DEN EGY EST FIN GBR GER
HKG HUN LAT LTU NED NOR NZL POL SUI SWE UKR USA

オリエンテーリングとはドイツ語で「方向を知る」と「走る」を意味する合成語です。地図とコンパスを用いて山野の各所に設定された各地点を通過してゴールまでの速さを競うスポーツで、地図を読む力と脚力が必要とされます。競技の公正を守るため、直前にコースが設置されます。山野を猛スピードで駆ける非常にハードなスポーツです。

パワーリフティング
POWERLIFTING

参加選手 95 | 参加国 28
AUT BEL BRA CAN CRC DEN ECU EGY FIN FRA GBR GER ISL ISV
ITA JPN MGL NED NOR PHI POL PUR RSA SVK SWE TPE UKR USA

人間の力強さを培うためにさまざまな体力、筋力トレーニング方法が考案されましたが、その成果を試す手段として競技化されたものが始まりといわれています。基本的運動要素「立つ・押す・引く」を「スクワット」（脚力）、「ベンチプレス」（腕力）、「デッドリフト」（背筋力）という3つの動作におきかえて、その力の極限を競うスポーツです。

参加選手

M	佐竹 優典 (26) サタケ ユウスケ 東京都出身	初参加	種目	男子軽量級 1位(金)
M	鈴木 豪 (27) スズキ ゴウ 神奈川県出身	初参加	種目	男子中量級 6位
W	福島 友佳子 (52) フクシマ ユカコ 兵庫県出身	6回目	種目	女子軽量級 1位(金)

ラケットボール
RACQUETBALL

参加選手 32 | 参加国 14
ARG BOL CAN CHI COL CRC DOM ECU GUA IRL JPN KOR MEX USA

四角い部屋をコートとして、2人もしくは4人の選手が交互にボールを前の壁に打ち合う競技。スカッシュと似ていますが、ラケットボールは壁、床、天井の6面をフルに使うことができます。試合は15点、15点、11点の3ゲームマッチで行われ、サーブ権を持ったプレーヤーがラリーに勝つと1点入り、負けるとサーブ交代となります。

ローラースポーツ
ROLLER SPORTS
［アーティスティック/インラインホッケー/スピードスケート（ロード・トラック）］

参加選手 256 | 参加国 27
ARG AUT BEL BRA CAN CHI COL CRC CUB CZE ECU ESP FRA GER GUA HKG HUN IND ITA LAT MEX PAR POR SUI TPE USA VEN

路上をアイススケートのように滑る道具として考案されたといわれており、アイススケートの金具の部分を小さな車輪に変えたシューズを使用するもので、競技にはタイムやポイントを競う「スピード」、1チーム5人で得点を競う「ホッケー」、技の正確さや“美”を競う「アーティスティック」の3種目があります。

ソフトボール
SOFTBALL

参加選手 115 | 参加国 8
AUS CAN ITA JPN MEX PUR TPE USA

野球から派生した球技であるソフトボールは、ゲームの進め方などの基本的なルールは野球とほぼ同じですが、グラウンドのサイズや使用球などが大きく異なっていて、円周12インチのボールを細くて短いバットで打つため、打球があまり遠くまで飛ばず、野球に比べてコンパクトな競技場で行うことができ、世代や性別を問わず広く楽しまれています。

参加選手

Ⓦ	我妻 悠香	(27) アガツマ ハルカ　埼玉県出身	初参加	種目	2位 銀
Ⓦ	石川 恭子	(26) イシカワ キョウコ　東京都出身	初参加	種目	2位 銀
Ⓦ	市口 侑果	(30) イチグチ ユカ　大阪府出身	初参加	種目	2位 銀
Ⓦ	勝股 美咲	(22) カツマタ ミサキ　岐阜県出身	初参加	種目	2位 銀
Ⓦ	川畑 瞳	(26) カワバタ ヒトミ　鹿児島県出身	初参加	種目	2位 銀
Ⓦ	切石 結女	(22) キリイシ ユメ　千葉県出身	初参加	種目	2位 銀
Ⓦ	工藤 環奈	(23) クドウ カンナ　青森県出身	初参加	種目	2位 銀
Ⓦ	後藤 希友	(21) ゴトウ　ミウ　愛知県出身	初参加	種目	2位 銀
Ⓦ	坂本 結愛	(26) サカモト ユイ　神奈川県出身	初参加	種目	2位 銀
Ⓦ	内藤 実穂	(28) ナイトウ ミノリ　大阪府出身	初参加	種目	2位 銀
Ⓦ	中川 彩音	(23) ナカガワ アヤネ　大阪府出身	初参加	種目	2位 銀
Ⓦ	原田 のどか	(30) ハラダ ノドカ　岡山県出身	初参加	種目	2位 銀
Ⓦ	藤田 倭	(31) フジタ ヤマト　長崎県出身	初参加	種目	2位 銀
Ⓦ	藤本 麗	(23) フジモト ウララ　広島県出身	初参加	種目	2位 銀
Ⓦ	三輪 さくら	(23) ミワ サクラ　愛知県出身	初参加	種目	2位 銀

スポーツクライミング
SPORT CLIMBING
[ボルダリング/リード/スピード]

参加選手 59 | 参加国 17
AUS AUT BEL CHI ECU FRA GER INA ISR JPN KAZ POL RSA SLO SUI UKR USA

人工壁にホールドと呼ばれる突起物を設置し、手足で保持して登るスポーツです。12m以上の壁に設けられたルートの到達高度を競う「リード」、15mの壁にセットされた同一の2本のルートを隣合わせで登る速さを競う「スピード」、3〜5mの壁に複数の課題が組まれ、その課題の完登数を競う「ボルダリング」があります。

参加選手

W	阿部 桃子	(19) アベ モモコ 神奈川県出身	初参加	種目 | 女子リード 7位
M	緒方 良行	(24) オガタ ヨシユキ 福岡県出身	2回目	種目 | 男子ボルダリング 3位(銅)／男子リード 7位
W	谷井 菜月	(18) タニイ ナツキ 奈良県出身	初参加	種目 | 女子リード 2位(銀)
W	中村 真緒	(22) ナカムラ マオ 東京都出身	初参加	種目 | 女子ボルダリング 3位(銅)
W	野中 生萌	(25) ノナカ ミホウ 東京都出身	2回目	種目 | 女子ボルダリング 1位(金)
M	樋口 純裕	(29) ヒグチ マサヒロ 佐賀県出身	初参加	種目 | 男子リード 2位(銀)
M	藤井 快	(29) フジイ ココロ 静岡県出身	2回目	種目 | 男子ボルダリング 2位(銀)

スカッシュ
SQUASH

参加選手 58 | 参加国 23
ARG AUS BEL BRA CAN CHN COL CZE ECU ESP FIN FRA GBR GER HKG HUN IRL JPN PER POL SUI UKR USA

四方を壁に囲まれたコートの中で、小さなゴムボールをワンバウンド以内で交互に打ち合う立体ビリヤードのようなラケット競技。前後左右の壁を使って瞬時にショットの角度や方向を変えることができるため、頭脳的でスピード感溢れるプレーが楽しめます。試合は1ゲーム11点先取。10−10になったら2点差まで継続。5ゲーム又は3ゲームマッチで行われます。

参加選手

W	佐野 ヘリング 愛利紗	(21) サノ ヘリング エリサ カナダ・ケベック州出身	初参加	種目 | 女子シングルス 17位
W	渡邉 聡美	(23) ワタナベ サトミ 神奈川県出身	初参加	種目 | 女子シングルス 9位

相撲
SUMO

参加選手 96 | 参加国 17
ARG BRA BUL EGY EST FIN GER HUN JPN MGL NOR POL THA TPE UKR USA VEN

相撲は、土俵に上がってから立合いに至るまでに定められた礼法を遵守し、まわし以外は身に寸鉄も帯びず、正々堂々と戦うことを理念としています。狭い土俵の中で相手を投げたり、土俵の外へ出したりするなど勝負の判定が極めて単純で、しかも短時間で勝負が決する競技です。

参加選手

M	五十嵐 敦	(23) イガラシ アツシ 岩手県出身	初参加	種目 | 男子重量級
W	石井 さくら	(17) イシイ サクラ 千葉県出身	初参加	種目 | 女子中量級 1位(金)
W	太田 麻乃	(36) オオタ アサノ 静岡県出身	4回目	種目 | 女子中量級
W	奥富 夕夏	(24) オクトミ ユカ 千葉県出身	2回目	種目 | 女子軽量級 1位(金)
W	今 日和	(24) コン ヒヨリ 青森県出身	初参加	種目 | 女子無差別級 2位(銀)
M	中村 泰輝	(22) ナカムラ ダイキ 石川県出身	初参加	種目 | 男子無差別級 1位(金)／男子重量級 2位(銀)
M	花田 秀虎	(20) ハナダ ヒデトラ 和歌山県出身	初参加	種目 | 男子重量級 1位(金)
W	久野 愛莉	(23) ヒサノ アイリ 栃木県出身	初参加	種目 | 女子重量級 3位(銅)
M	深野 良太	(24) フカノ リョウタ 山口県出身	初参加	種目 | 男子中量級 4位
M	藤澤 詩音	(21) フジサワ シオン 富山県出身	初参加	種目 | 男子中量級 2位(銀)
W	松本 渚	(22) マツモト ナギサ 鳥取県出身	初参加	種目 | 女子中量級 4位
W	山中 未久	(28) ヤマナカ ミク 静岡県出身	2回目	種目 | 女子軽量級 2位(銀)

綱引
TUG OF WAR

参加選手 135 | 参加国 8
BEL GBR GER ITA NED SUI SWE TPE

1チーム8人の体重別クラスで、アウトドアおよびインドアで行われます。時間制限はなく、2つのチームが1本の綱を両側から引き合って、4mの距離を引ききった方が勝ちですが、体力よりもチームワークが重要で、ロープを通してさまざまな駆け引きが展開されます。古くは五穀豊穣を占う儀式としても行われていました。

水中スポーツ
UNDERWATER SPORTS (FINSWIMMING)
[フィンスイミング]

参加選手 92 | 参加国 19
CHN COL CRO CZE ECU EGY FRA GER GRE HUN
ITA JPN KOR POL SVK TPE TUR UKR USA

フィンスイミングは、イルカの尾鰭に似た1枚の大きなモノフィンを装着し、水中をウェービングして50mを無呼吸で泳ぎタイムを競うアプニア、モノフィンとセンタースノーケルで呼吸し水面を泳ぐサーフィス（100m、200m、400m）、2枚フィンとスノーケルを装着して泳ぐビーフィン（50m、100m）と4×100mサーフィスリレーが実施されています。

参加選手

Ⓜ **上野 浩暉** (27) ウエノ コウキ　東京都出身　初参加 | 種目 | サーフィス100m 4位

水上スキー・ウエイクボード
WATERSKI&WAKEBOARD

参加選手 73 | 参加国 35
ARG AUS AUT BEL BRA CAN CHI COL CZE DEN DOM ESP FRA GBR GER GRE IRL ISR
ITA JPN KOR LAT MAR MAS MEX NAM NZL RSA SUI SVK SWE THA TPE UKR USA

水上スキーは競技としてジグザグに設定されたブイをクリアしていく「スラローム」、豪快に空中を飛ぶ「ジャンプ」、演技を競う「トリック」が行われます。その他、スキーを履かず裸足で水上を滑る「ベアフット」や、1枚板に横乗りする「ウエイクボード」、「ウエイクサーフィン」という競技があります。

参加選手

Ⓜ **手塚 翔太** (28) テヅカ ショウタ　静岡県出身　2回目 | 種目 | 男子ウエイクボードフリースタイル 6位

Ⓦ **吉原 陽向** (21) ヨシハラ ヒナタ　広島県出身　初参加 | 種目 | 女子ウエイクボードフリースタイル 1位 金

デモンストレーション 開催報告　合気道 演武

7月13日、デモンストレーション競技として「合気道」が実施されました。日本からは公益財団法人合気会（日本ワールドゲームズ協会会員団体）の有馬隼人氏、入江嘉信氏、里舘潤氏が参加しました。合気道は稽古を通して心身の錬成を図る武道であり、今回のワールドゲームズでは、各国からの参加者が一堂に会し、日頃の稽古の成果を演武によって披露しました。

参加選手

Ⓜ **有馬 隼人** (25) アリマ ハヤト　岡山県出身　初参加

Ⓜ **入江 嘉信** (55) イリエ ヨシノブ　熊本県出身　3回目

Ⓜ **里舘 潤** (34) サトダテ ジュン　岩手県出身　初参加

The World Games 2022 BIRMINGHAM

公開競技 5

アメリカンフットボール（フラッグフットボール）
ラクロス（男子）
トライアスロン（デュアスロン）
車いすラグビー
武術

国際ワールドゲームズ協会（IWGA）と開催都市が決定する公開競技。開催都市の国・地域で盛んなスポーツや伝統的なスポーツが実施されます。第11回大会では5競技が実施され、日本からは4競技に34名の選手が参加しました。

アメリカンフットボール
AMERICAN FOOTBALL (FLAG FOOTBALL)
［フラッグフットボール］

参加選手 192 | 参加国 10 AUT BRA DEN FRA GER ITA JPN MEX PAN USA

フラッグフットボールは、アメリカンフットボールから接触を除いた種目で、戦略性・競技性をそのまま生かしつつ、幅広い世代で男女を問わず楽しめることから、近年、注目が高まっています。また日本では小学校の授業でも20年度からの指導要領改定に伴い採用されています。アメリカンフットボールは1989年・2005年・2017年のワールドゲームズに公開競技として採用されました。

参加選手

W	磐田 千紘	(18) イワタ チヒロ 東京都出身	初参加	種目	5位
W	近江 佑璃夏	(23) オウミ ユリカ 大阪府出身	初参加	種目	5位
W	加藤 純奈	(25) カトウ ジュンナ 岩手県出身	初参加	種目	5位
W	金谷 明咲妃	(22) カナタニ アサヒ 兵庫県出身	初参加	種目	5位
W	北崎 あかり	(18) キタザキ アカリ 神奈川県出身	初参加	種目	5位
W	佐伯 涼香	(19) サエキ スズカ 東京都出身	初参加	種目	5位
W	佐藤 由樹	(31) サトウ ユキ 神奈川県出身	初参加	種目	5位
W	辰野 汐里	(25) タツノ シオリ 東京都出身	初参加	種目	5位
W	中澤 奏子	(26) ナカザワ カナコ 神奈川県出身	初参加	種目	5位
W	中畑 友里	(19) ナカハタ ユリ 兵庫県出身	初参加	種目	5位
W	三宅 萌	(30) ミヤケ モエ 兵庫県出身	初参加	種目	5位
W	目黒 七星	(18) メグロ ナナセ 神奈川県出身	初参加	種目	5位

ラクロス（男子）
LACROSSE (MEN)

参加選手 96 | 参加国 8 AUS CAN GBR GER HNL ISR JPN USA

クロスと呼ばれる先に網の付いたスティックを用いて、直径6cm・重さ150gの硬質ゴム製のボールを奪い合い、相手陣のゴールにシュートし得点を競う北米インディアン発祥のスポーツです。カナダの国技でもあり、現在世界60数カ国で普及し、4年に一度、ワールドカップが開催されています。

参加選手

M	梅原 寛樹	(26) ウメハラ トモキ 東京都出身	初参加	種目	3位 銅
M	尾花 一輝	(25) オバナ カズキ 千葉県出身	初参加	種目	3位 銅
M	金谷 洸希	(25) カナヤ ヒロキ 東京都出身	初参加	種目	3位 銅
M	小松 勇斗	(23) コマツ ユウト 東京都出身	初参加	種目	3位 銅
M	佐藤 大	(27) サトウ ダイ 東京都出身	初参加	種目	3位 銅
M	佐野 清	(23) サノ キヨシ 東京都出身	初参加	種目	3位 銅
M	杉原 暉徳	(27) スギハラ キノリ アメリカ合衆国出身	初参加	種目	3位 銅
M	鈴木 潤一	(27) スズキ ジュンイチ 東京都出身	初参加	種目	3位 銅
M	立石 真也	(24) タテイシ シンヤ 東京都出身	初参加	種目	3位 銅
M	徳舛 宗哉	(29) トクマス ソウヤ 兵庫県出身	初参加	種目	3位 銅
M	夏目 聖矢	(32) ナツメ セイヤ 神奈川県出身	初参加	種目	3位 銅
M	福島 裕樹	(26) フクシマ ユウキ 千葉県出身	初参加	種目	3位 銅

トライアスロン
TRIATHLON (DUATHLON)
［デュアスロン］

参加選手 55 | 参加国 21

AUS AUT BEL BRN COL FRA GER JOR JPN MAR MEX
NED PHI ROU RSA SUI SVK UAE URU USA VEN

ワールドゲームズではデュアスロンを行います。一人の選手がランニング（第1ラン）、バイク（自転車）、ランニング（第2ラン）の順に行う複合競技で、フィニッシュ時間、順位を競うスポーツです。水泳がないことから、トライアスリートのみならずランナーやサイクリストもチャレンジできる競技として定着しています。

参加選手

W	上田 藍	(38) ウエダ アイ　京都府出身	2回目	種目 | 女子個人 2位 銀／ミックスチームリレー 7位
M	田中 文也	(30) タナカ フミヤ　滋賀県出身	2回目	種目 | 男子個人 11位／ミックスチームリレー 7位

車いすラグビー
WHEELCHAIR RUGBY
［ローポイント］

参加選手 46 | 参加国 6

CAN GBR GER JPN SUI USA

車いすラグビーは、四肢麻痺者等（頸髄損傷や四肢の切断、脳性麻痺等で四肢に障がいのある者）の選手によって、1977年にカナダで考案されました。ラグビー、バスケットボール、アイスホッケー等の要素が組合せられたオリジナルの競技であり、バスケットボールと同じ広さの室内のコート、バレーボールの5号球を基に開発された公式専用球を使用します。車いす同士のコンタクト（タックル）が認められているため、競技用の車いすはハードなプレイに耐え得る専用のものとなっています。

参加選手

M	今井 友明	(39) イマイ トモアキ　千葉県出身	初参加	種目 | ミックスチーム 2位 銀
M	小川 仁士	(28) オガワ ヒトシ　東京都出身	初参加	種目 | ミックスチーム 2位 銀
M	岸 光太郎	(50) キシ コウタロウ　埼玉県出身	初参加	種目 | ミックスチーム 2位 銀
W	倉橋 香衣	(31) クラハシ カエ　兵庫県出身	初参加	種目 | ミックスチーム 2位 銀
M	乗松 聖矢	(32) ノリマツ セイヤ　熊本県出身	初参加	種目 | ミックスチーム 2位 銀
M	乗松 隆由	(35) ノリマツ タカユキ　熊本県出身	初参加	種目 | ミックスチーム 2位 銀
M	長谷川 勇基	(29) ハセガワ ユウキ　広島県出身	初参加	種目 | ミックスチーム 2位 銀
M	若山 英史	(37) ワカヤマ ヒデフミ　静岡県出身	初参加	種目 | ミックスチーム 2位 銀

武術
WUSHU

参加選手 59 | 参加国 26

ARG BRA BRU CAN CHI CHN EGY FRA GBR HKG INA IND ISR
ITA KOR MEX NEP SEN SGP SUI THA TPE UKR USA UZB VIE

数千年の歴史をもつ中国武術には数多くの武術の流派や種類があり、現在では競技スポーツとして、「武術」の中国語の発音「WUSHU（ウーシュー）」の名称で国際的に普及しています。試合形式には、一定のルールのもとに相手と格闘して勝負を決める「対抗性競技」と、一定の動作を単独で演武してその技術水準を評価する「演武競技」の2種類があります。

日本代表選手一覧

公式・公開21競技に137名の選手が出場しました。

公式競技（17競技：103名）

エアースポーツ

●JWGA会員団体　一般財団法人 日本航空協会

上関 風雅　かみぜき ふうが
男・14歳（初）　埼玉県出身　ドローンレーシング 6位
JAPRADAR

齋藤 三佳　さいとう みか
女・27歳（初）　福岡県出身　ドローンレーシング 24位
GLAiT
私は競技歴が3年と浅く、今回が初参加でした。慣れない海外での試合に不安な面もありましたが、同じ団体メンバーに支えられ無事に終えることができました。世界の壁の大きさを改めて感じた一方で、自分より倍以上の歴がある女性選手達の結果を見たときに、十分に戦っていける感触もあり、より一層上を目指していこうという自信に繋がりました。

アーチェリー（フィールド）

●JWGA会員団体　公益社団法人 全日本アーチェリー連盟

大貫 渉　おおぬき わたる
男・28歳（2）　神奈川県出身　男子リカーブ 7位
サガミ
前回大会は3位だったので、今回もメダル獲得を目標に取り組みましたが、結果は7位でメダル獲得とはなりませんでした。次回のワールドゲームズではメダル獲得を目指します。ファイテン様がスポンサーについてやる気が増幅されたのは間違いないので、もっとたくさんのスポンサー様がつくといいなと思います。

ビリヤード

●JWGA会員団体　公益社団法人 日本ビリヤード協会

平口 結貴　ひらぐち ゆうき
女・24歳（初）　北海道出身　女子プール 3位 銅
日本プロポケットビリヤード連盟
ビリヤード日本代表として出場させていただきありがとうございました。ビリヤード会場も他の会場もとても観戦しやすく設置されていて、プレイがとてもしやすかったです。今回は銅メダルという結果でしたが、今後もより良いパフォーマンスができるように日々の練習や食事管理などにも励んでいきたいと思います。

船木 耕司　ふなき こうじ
男・51歳（初）　宮城県出身　男子キャロム 準々決勝敗退
日本プロビリヤード連盟
日本代表として初めてワールドゲームズに出場させていただきありがとうございました。今回はメダルには届きませんでしたが、次回の中国でのワールドゲームズに向けて、日々練習をしたいと思います。

カヌー

●JWGA会員団体　公益社団法人 日本カヌー連盟

ギョコス ラヨッシュ
男・42歳（初）　ハンガリー出身
男子カヌーマラソン K1 スタンダードディスタンス 10位
ショートディスタンス 11位
土佐町

渡邉 えみ里　わたなべ えみり
女・25歳（初）　山梨県出身
女子カヌーマラソン K1 スタンダードディスタンス17位
ショートディスタンス18位
日本スポーツ振興センター

ダンススポーツ

●JWGA会員団体　公益社団法人 日本ダンススポーツ連盟

大西 咲菜　おおにし さきな
女・20歳（初）　富山県出身　スタンダード 18位
今回のワールドゲームズでは、オープニングセレモニーにも参加し、他種目の方との交流があり、とても充実した日々でした。日本代表として出場できたことがとても嬉しく、光栄でした。メダルを取ることができなかったのはとても悔しかったです。次の4年後に向けてさらにパワーアップして、堂々とメダルが取れるように頑張ります！

大西 大晶　おおにし ひろあき
男・23歳（初）　富山県出身　スタンダード 18位

半井 重幸　なからい しげゆき
男・20歳（初）　大阪府出身　ブレイキンB-Boys 3位 銅
通常の大会に比べて、選手村での生活や他競技との交流を含め、オリンピックに近い環境下での大会となり、とても良い経験になりました。今回の経験を生かして、今後も頑張っていきたいと思います。

福島 あゆみ　ふくしま あゆみ
女・39歳（初）　京都府出身　ブレイキンB-Girls 3位 銅

湯浅 亜実　ゆあさ あみ
女・23歳（初）　埼玉県出身　ブレイキンB-Girls 1位 金
勝ち負けももちろんあるし、出場するからには優勝を目指しますが、それよりも自分らしく、自分のベストを出せるように今後も全力で楽しんでいきたいと思います。負けた時に後悔の残らない練習を続け、本番は会場で一番楽しみたいと思っています。そのエネルギーが見ている人や応援してくれている人に伝線していってくれたら嬉しいです。

フライングディスク

●JWGA会員団体　一般社団法人 日本フライングディスク協会

浅田 一輝　あさだ かずき
男・28歳（初）　大阪府出身　アルティメット・ミックス 5位
大阪スピリッツ

荒川 太陽　あらかわ たいよう
男・32歳（初）　愛知県出身　アルティメット・ミックス 5位
文化シヤッターBuzz Bullets
初参加でしたが、大会の規模の大きさに驚きました。選手として、プレーに専念できるような環境が整えられていたことに、とても感謝しています。

稲村 知子　いなむら ともこ
女・32歳（2）　大阪府出身　アルティメット・ミックス 5位
壱
久しぶりの海外での試合、結果は出ませんでしたが楽しかったです。体調管理面では、各国の選手間でコロナに対する認識や対策が違っており、とても苦労をしました。まだまだ制限があるなかで、そのあたりをどのようにしていくのかは課題であると感じました。

今西 叶莉　いまにし かなり
女・23歳（初）　兵庫県出身　アルティメット・ミックス 5位
MUD
初めてワールドゲームズに参加して、競技に集中できる環境が本当にありがたく、すごいなと実感しました。私たち選手が競技だけに集中できたのは、たくさんの運営スタッフの方々のおかげです。ありがとうございました。

奥村 陽平　おくむら ようへい
男・24歳（初）　愛知県出身　アルティメット・ミックス 5位
文化シヤッターBuzz Bullets
このご時世のなか開催していただきありがとうございました。次回はメダルを取れるように頑張ります。

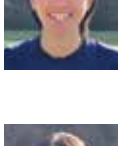
樫野 優子　かしの ゆうこ
女・32歳（2）　広島県出身　アルティメット・ミックス 5位
MUD

北尾 宗章　きたお ひろあき
男・24歳（初）　大阪府出身　アルティメット・ミックス 5位
大阪スピリッツ

芝 圭一郎　しば けいいちろう
男・34歳（2）　和歌山県出身　アルティメット・ミックス 5位
文化シヤッターBuzz Bullets
バーミングハムの皆さんに歓迎されていると感じたのがすごく嬉しかったです。日本選手団おそろいのジャージ、ポロシャツも意識が高まり、良かったと思います。個人的には怪我で出場できませんでしたが、チームのためにできることを精一杯やりました。大会に関わったすべての方に感謝いたします。

高田 舞雪加　たかだ まゆか
女・22歳（初）　埼玉県出身　アルティメット・ミックス 5位
MUD
初めての世界大会でしたが、施設・対応ともに非常に充実しており、プレーに専念することができました。次回のワールドゲームズにも参加できるよう、今回の経験を生かしていきたいです。

田島 美和　たじま みわ
女・25歳（初）　神奈川県出身　アルティメット・ミックス 5位
東京マーベリックス
他競技も行われる大規模な大会は初めてだったので、規模の大きさに驚きました。空港や町も歓迎ムードだったことが嬉しく、非常にいい経験になりました。



中山 侑香　なかやま ゆうか
女・24歳（初）　佐賀県出身　アルティメット・ミックス 5位
ratolowlezz
コロナ禍、大会を開催していただきありがとうございました。ワールドゲームズの種目が、どんどんオリンピック競技に採用されるよう、普及活動も含め、日本のレベルアップに向けて頑張っていきたいと思います。

野口 可奈　のぐち かな
女・30歳（2）　東京都出身　アルティメット・ミックス 5位
HUCK
大会前にキャプテンミーティングがあり、試合やコロナ対策についての話が事前にありました。各国の感染意識が違うなかでお互いに考え方を共有した上で試合に臨めたのが良かったです。

本名 拓　ほんな たく
男・30歳（2）　福島県出身　アルティメット・ミックス 5位
Nomadic Tribe

松野 政宏　まつの まさひろ
男・38歳（3）　大阪府出身　アルティメット・ミックス 5位
文化シヤッターBuzz Bullets
コロナ禍で難しい運営の中、大会を開催して頂いて感謝しかありません。目指した結果には届きませんでしたが、コロナが終息し、ベストな環境でもう一度大会に参加して、世界一に挑戦したいと思っています。

村岡 彰文　むらおか あきふみ
男・28歳（初）　埼玉県出身　アルティメット・ミックス 5位
Technicolor
世界一になりたいです。

吉田 楓　よしだ かえで
女・26歳（初）　東京都出身　アルティメット・ミックス 5位
東京マーベリックス
今大会がワールドゲームズ初参加でしたが、設備・食事などのサービスがとても良く、競技に集中できる環境で素晴らしいと思いました。次回はメダルを取れるように練習に励みたいです。

体操（パルクール）

●JWGA会員団体　公益財団法人 日本体操協会

泉 ひかり　いずみ ひかり
女・26歳（初）　大阪府出身
女子スピード 3位 銅　**女子フリースタイル 3位** 銅
TOKIOインカラミ
今回パルクールが初めて、ワールドゲームズの競技に加わり、大きな舞台で日本代表としてメダルを獲得できたことを光栄に思います。この大会を通して、多くの方にパルクールを知ってもらえるきっかけになりました。今後、より多くの方にパルクールのカルチャーを理解していただき、楽しんでいただけるようにこれからも精進してまいりたいと思います。

勝乗 志音　かつのり しおん
男・22歳（初）　広島県出身
男子スピード 7位　男子フリースタイル 4位
MISSION広島
このような大きな大会に出場できた事をとても嬉しく思います。結果を残したかったのですが、惜しくも表彰台に上がれなかった事がとても悔しいです。課題もたくさん見つかり、大会に出場した人にしか分からない貴重な経験値を積み上げる事ができました。次回も出場できるよう他の大会でも結果を残し、世界大会タイトル1位を取りにいけるように日々精進していきます。

体操（新体操）

●JWGA会員団体　公益財団法人 日本体操協会

鈴木 菜巴　すずき なるは

女・17歳（初）　兵庫県出身
個人競技 ボール20位、クラブ10位、ループ13位、リボン10位
アリシエ兵庫/兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校

今回のワールドゲームズが自分にとって初めての国際大会でした。これまで画面越しでしか見られなかった世界の選手との違い、自分の強み・弱みを見直すよい機会をいただきました。メダル獲得には到底及ばず、力不足ではありますが、この貴重な経験を活かし、今後も引き続き努力して参ります。

田口 久乃　たぐち ひさの

女・15歳（初）　千葉県出身
個人競技 ボール14位、クラブ21位、ループ19位、リボン18位
安達新体操クラブ/あずさ第一高等学校

シニアになり初めての国際大会で緊張とワクワクがありました。周りの選手は世界選手権などに出場している選手も多く、すごい方々と練習や試合をすることができ、とても良い経験をさせていただきました。結果は悔しいですが、今大会を通して、自分も国際大会で結果を残せるような強い選手になりたいと感じました。

体操（ダブルミニトランポリン）

●JWGA会員団体　公益財団法人 日本体操協会

谷口 遼平　たにぐち りょうへい

男・27歳（初）　静岡県出身
男子ダブルミニトランポリン 3位 銅
たにぐちりょうへいトランポリンクラブ/第一商事

今大会は私自身初めての出場であるとともに、ダブルミニトランポリン競技としても日本人初出場でした。そんな大変光栄な機会で実力を最大限発揮できたことがとても嬉しく、着地がピッタリと決まったときの歓声と、表彰台に登ったときの達成感は今でも忘れません。今後は4回宙返りの練習も視野に入れ、中国大会でもメダルを獲得できるように頑張ります。皆様の応援で3位銅メダルを獲得することができました。応援ありがとうございました。

体操（タンブリング）

●JWGA会員団体　公益財団法人 日本体操協会

北折 愛里　きたおり えり

女・19歳（初）　愛知県出身　女子タンブリング 5位
順天堂大学/Rainbow

今回のワールドゲームズでは、予選・決勝ともに大きなミスをすることなく安定した演技ができました。結果は5位と表彰台まであと少しでしたが、着実に前進していることを感じることができた大会だったと思います。このような結果を残すことができたのも、日頃からサポートしてくださっている先生方や、一緒に戦ってくれている人たちの支えがあったからです。多くの方のサポートを頂いて、普段の練習から大会期間中に至るまで、充分に準備をすることができ、試合に臨めたと思っています。決勝2には、0.1点差で届かず悔しい思いもあります。自分自身の改善点も見つかったので、今後の国際大会に向けて練習を積んで、より精度の高い演技ができるように頑張ります。そして、悲願であるメダル獲得を実現できるよう、今後一層努力と研鑽をしていきたいと思います。

又吉 健斗　またよし けんと

男・21歳（初）　沖縄県出身　男子タンブリング 4位
静岡産業大学クラブ

ワールドゲームズの出場は初めてで緊張しましたが、日本選手団として戦ってることが心強く、自分らしい演技をする事が出来ました。また、会場の雰囲気もとても良くて試合を楽しめました。結果としては、もう1歩メダルには届きませんでしたが、この経験が自分自身を強くしてくれました。今後は世界でのメダルを目指し、タンブリング競技を少しでも多くの人に知ってもらえるよう、応援したいと思える競技になれるように、頑張っていきます。ワールドゲームズを通して沢山の成長が出来ました。応援ありがとうございました。

空手

●JWGA会員団体　公益財団法人 全日本空手道連盟

大野 ひかる　おおの ひかる

女・29歳（初）　大分県出身　女子個人形 2位 銀
大分市消防局

初出場となった今大会では、銀メダルという悔しい結果となりましたが、自分自身としては成長することができたと思います。初めての選手村、他国の選手との共同生活は良い経験になりました。このようなご時世のなかでベストパフォーマンスを発揮できたことは、今後の競技生活において役立つと思っています。

中野 壮一朗　なかの そういちろう

男・24歳（初）　京都府出身　男子組手67kg級 5位
イー・ギャランティ

今回、大会直前で出場が決まり、準備期間が短かったのですが、ベストを尽くせたと思います。メダルを獲得できなかったことは悔しいですが、今後の競技人生において良い経験になりました。2023年に開催される世界選手権で優勝することが次の目標です。ワールドゲームズでの経験を生かして優勝に向けて頑張っていきたいです。

宮原 美穂　みやはら みほ

女・25歳（2）　福岡県出身　女子組手50kg級 3位 銅
帝京大学

今大会が2回目の参加でした。4年に一度のチャンスなので優勝を狙ってましたが、3位という結果に終わりました。前回準優勝し、今回こそはと思っていたので悔しい思いでした。2023年の世界大会3連覇に向け、日々の稽古を大切に過ごしていきたいと思います。

本 一将　もと かずまさ

男・26歳（初）　千葉県出身　男子個人形 1位 金
エージーピー

今回出場することができてとても貴重な経験になりました。この大会を通して、子どもたちに夢や希望を与えられる選手でありたいと思うようになりました。まだまだ未熟ですが、少しずつ前進している実感もあるので、選手としても人としても成長できるよう頑張っていきます。抱負は、正真正銘の世界一を目指します。

ラクロス（女子）

●JWGA会員団体　公益社団法人 日本ラクロス協会

井田 ほのか　いだ ほのか

女・22歳（初）　京都府出身　6位
MISTRAL

各国各競技のたくさんのアスリートが集結してしのぎを削り、ともに高めあう環境はとても刺激的で、人生においても非常に濃密な体験でした。日本と世界との差はまだまだ大きいですが、今大会でその差を身をもって体感しました。悔しい気持ちを味わった選手1人1人が、また国内で挑戦を続け、日本ラクロスを牽引していける一員へと成長していきたいと思います。

井上 果歩　いのうえ かほ

女・26歳（2）　茨城県出身　6位
MISTRAL

岩田 菜央美　いわた なおみ

女・26歳（2）　神奈川県出身　6位
MISTRAL

メダル獲得を掲げて挑みましたが、前回大会から順位を1つ落としたとても悔しい結果となりました。日本の敏捷性とスピードは通用しましたが、フィジカルの差が点差に繋がったと考えます。今大会を通じて、各国の戦い方、6人制ラクロスの競技特性、世界に通用する部分と通用しない部分を体感しました。今回の経験を活かし、今後の世界大会でメダルを取るための準備をしていきたいと思います。

河合 寧々 かわい ねね
女・20歳（初） 東京都出身 6位
学習院大学

小瀬 かなえ こぜ かなえ
女・22歳（初） 東京都出身 6位
MISTRAL
多くの人の支えがあって開催できていると感じる大会でした。練習できる環境はもちろん、飲料水やケアのスタッフなどこれまでの大会ではなかったものが多くあり、選手がより良いコンディションでプレーできる環境がつくりだされていました。3年後の世界大会では男子に引き続きメダルを獲得できるよう、準備をしてまたコートに立ちたいです。

小林 遥佳 こばやし はるか
女・23歳（初） 京都府出身 6位
NeO
世界トップレベルの選手たちと戦えたことは大変大きな経験となりました。ラクロスだけでなく、他スポーツを知る機会にもなり、スポーツの素晴らしさを再認識出来ました。今後のラクロスの発展に寄与できるよう、メダル獲得に向けて精進します。

竹本 萌優 たけもと もゆ
女・25歳（2） 京都府出身 6位
NLC SCHERZO
大会を運営いただき誠にありがとうございました。サポートをいただいたおかげで、戦いに専念できました。次大会も参加し、日本にメダルを持って帰りたいと思います。

田中 希実 たなか のぞみ
女・26歳（2） 埼玉県出身 6位
MISTRAL
今大会、様々なサポートをありがとうございました。コロナに翻弄された大会でしたが、競技に集中できる環境でとても良かったです。今大会は6位という悔しい結果で終わってしまいましたが、次大会ではメダルを獲得できるよう頑張りたいと思います。

富田 真世 とみた まよ
女・33歳（初） 福岡県出身 6位
NLC SCHERZO
ラクロス以外のスポーツ選手が集まる中での世界大会はとてもわくわくしました。ラクロスの強豪国の選手と戦って、交流することができて、もっと強くなりたいと思いました。

冨森 美帆 とみもり みほ
女・21歳（初） 神奈川県 6位
東海大学
日本選手団として今回参加してみて、英語が出来ないことをすごく痛感させられました。他の国の選手は簡単にコミュニケーションが取れてるのに対して、日本人だけコミュニケーションが取れない場面も多く、英語をもっと勉強するべきだと思いました。次回、大会に出場する際は英語を話せるレベルまで到達させ、海外の選手と交流できるようにしていきたいです。

中澤 ねがい なかざわ ねがい
女・18歳（初） 神奈川県出身 6位
今大会はコロナ禍での開催で正直不安はありましたが、とても楽しめました。世界と戦えてよかったです。また、違うスポーツを観戦できて新鮮でした。

藤村 麻伊 ふじむら まい
女・21歳（初） 神奈川県出身 6位
明治大学
コロナ禍での開催ということもあり、いろいろなことがありましたが、そんななかで大会を開催して下さってありがとうございました。目標であったオーストラリアを倒してメダルを獲得するということはできなかったのですが、たくさん得るものがありました。次の2025年、中国で開催される世界大会では今大会での学びを活かし、さらなる進化を遂げて目標を達成します！

ライフセービング

●JWGA会員団体 公益財団法人 日本ライフセービング協会

安藤 秀 あんどう すぐる
男・31歳（2） 大阪府出身
4×50m男子障害物リレー 3位 銅
4×50m男子メドレーリレー 5位
Vikings

板場 貴大 いたば たかひろ
男・21歳（初） 東京都出身
4×50m男子障害物リレー 3位 銅
4×50m男子メドレーリレー 5位
早稲田ライフセービングクラブ
五輪非採用のスポーツにたくさん触れ合い、様々な国籍の方と関わった時間は夢のようでした。自分と同じライフセーバーが世界各国で「水辺事故0」という共通の目的を持って活動する自明の事実に気付かされ、胸が熱くなりました。地球は海で繋がっていますから、日頃私たちが守る海の先に同じ志を持つ仲間がいると考えるだけで、今後の励みになります。生涯をかけてこの活動に携わりたいと感じました。

伊藤 若菜 いとう わかな
女・23歳（初） 東京都出身
4×50m女子障害物リレー 6位 4×50m女子メドレーリレー 6位
和田浦ライフセービングクラブ
今大会は行きの飛行機が欠航になるハプニングから始まりました。開会式に出られないとわかった時はかなり落ち込み、今までの遠征にはない不安と体力の消耗がありましたが、現地についてからはチームの雰囲気や目標のおかげでうまく調整することができ、女子初のメダルに向け、気持ちを入れてレースに臨めました。結果は思うようには行きませんでしたが、世界でも戦えることを実感できたレースになりました。

髙須 快晴 たかす よしはる
男・21歳（初） 神奈川県出身
4×50m男子障害物リレー 3位 銅
4×50m男子メドレーリレー 5位
早稲田ライフセービングクラブ 鹿嶋ライフガードチーム
開会式に出ることができなかったので、雰囲気を味わい損ねてしまったことが残念です。同じ競技の人を同じフロアに集めていただいたことがありがたかったです。また出たいなと思いました。

名須川 紗綾 なすかわ さあや
女・30歳（2） 神奈川県出身
4×50m女子障害物リレー 6位 4×50m女子メドレーリレー 6位
茅ヶ崎サーフライフセービングクラブ
表彰台を狙って取り組んできましたが、目標を達成できなかったことは非常に悔しく思っています。日本新記録を樹立できた種目でも目標に到達できず、これから埋めるべき世界との差として認識できました。前回大会で世界一を達成した男子に続き、女子も今後の大会で上位を狙って取り組んでいきたいと思います。

西山 俊 にしやま しゅん
男・33歳（2） 神奈川県出身
4×50m男子メドレーリレー 5位 4×25m男子マネキンリレー 6位
湯河原ライフセービングクラブ
前回大会に続き今大会も連覇を目指していましたが叶いませんでした。他国からは競泳の現役オリンピック選手も出場しており、前回よりはるかにハイレベルでした。ライフセービングの選手を育成するだけでなく、競泳などの類似種目の選手をリクルートするなどへ移行していかないと世界から遅れを取っていくと感じました。そのためにまずライフセービングの価値をより高め、認知してもらう活動が今後重要だと感じました。

平井 葉子 ひらい はこ
女・21歳（初） 神奈川県出身
4×50m女子障害物リレー 6位
4×50m女子メドレーリレー 6位
九十九里ライフセービングクラブ／
日本大学サーフライフセービングクラブ
様々なサポートのおかげで、チーム全員が全ての力を出し切ることができました。望むような結果にはなりませんでしたがとても貴重な経験ができました。たくさんのご声援ありがとうございました。

平野 修也 ひらの なおや
男・36歳(2)　東京都出身
4×50m男子障害物リレー 3位 銅
4×25m男子マネキンリレー 6位
山形ライフセービングクラブ

八木 愛海 やぎ まなみ
女・22歳(初)　東京都出身　4×25m女子マネキンリレー 8位
鴨川ライフセービングクラブ
ワールドゲームズ2022に出場させていただき、大会の雰囲気や様々な競技の方との関わりを持てたことで、新たな目標ができました。今後もさらなる飛躍ができるよう頑張ります。

山岸 夢 やまぎし のぞみ
女・24歳(初)　東京都出身
4×50m女子障害物リレー 6位
4×50m女子メドレーリレー 6位
鹿嶋ライフガードチーム
今大会では他種目で金メダルなど取っている人もおり、大変誇らしいことでしたが、事前に交流が無かったために食事の場で会っても声をかけづらかったです。交流があったらもっと応援もお祝いの声もたくさんあったのではないかと感じます。しかしまだまだ初見のスポーツもあり、とても素晴らしい機会でした。ぜひまた出場し、次はメダルを獲得したいです。

パワーリフティング

●JWGA会員団体　公益社団法人 日本パワーリフティング協会

佐竹 優典 さたけ ゆうすけ
男・26歳(初)　東京都出身　男子軽量級 1位 金
TXP
競技を始めた頃からずっと今大会への出場が夢であり、目標でした。結果は優勝という最高の形で終えることができました。応援、サポートして頂いている皆様、日本パワーリフティング協会の皆様、そして日本ワールドゲームズ協会の皆様のお力添えあっての結果だと思います。次回2025年の大会も出場し、連覇を目指して頑張っていきたいと思います。

鈴木 豪 すずき ごう
男・27歳(初)　神奈川県出身　男子中量級 6位
TXP
ご支援いただきありがとうございました。大会出場出来ましたこと、感謝申し上げます。次回は出場できるかはわかりませんが、今後もパワーリフティング及びワールドゲームズの発展を意識し、活動して参ります。

福島 友佳子 ふくしま ゆかこ
女・52歳(6)　兵庫県出身　女子軽量級 1位 金
医療法人伯鳳会「パワーハウス赤穂」
2001年の秋田大会から今回で6度目の挑戦で、念願の金メダルを獲得できました。競技を続けてきて最高のご褒美をいただきました。また、競技日程が初日でしたので2022年ワールドゲームズ金メダル第1号とラッキーなおまけまでついてきました。次回は3年後、代表選手になれるよう日々、精進していきます。

ソフトボール

●JWGA会員団体　公益財団法人 日本ソフトボール協会

我妻 悠香 あがつま はるか
女・27歳(初)　埼玉県出身　2位 銀
ビックカメラ高崎
アメリカの母国愛を感じる大会でした。完全アウェイのなかでの試合は良い練習になりました。

石川 恭子 いしかわ きょうこ
女・26歳(初)　東京都出身　2位 銀
トヨタ自動車
今大会はとても良い環境でソフトボールをすることができ、また観客も多い中プレーできたことがとても楽しかったです。海外特有のソフトボールの盛り上がりを感じ、日本でももっと盛り上げていきたいと思いました。今回、試合結果として満足いくものではありませんでしたが、海外の選手と戦い、次に繋がる良い経験ができました。今後は個人の技術をあげ、次のオリンピックに向けて頑張りたいです!

市口 侑果 いちぐち ゆか
女・30歳(初)　大阪府出身　2位 銀
ビックカメラ高崎
コロナ禍もあり、海外で試合が数年できてなかったなかでの大会でしたが、選手村からオリンピックに近い雰囲気で充実した時間を過ごす事ができました。またワールドゲームズでは他競技も知ることができ、スポーツの素晴らしさを改めて感じることができました。今回の経験を活かして、さらに成長できるように頑張りたいと思います。

勝股 美咲 かつまた みさき
女・22歳(初)　岐阜県出身　2位 銀
ビックカメラ高崎
ワールドゲームズという大きな大会に出場できたこと、本当に嬉しく思います。今大会は悔しさの残る試合でしたが、この経験を活かし、またステップアップできるように頑張りたいと思います。

川畑 瞳 かわばた ひとみ
女・26歳(初)　鹿児島県出身　2位 銀
デンソー
コロナ禍での大会となり、不安もありましたが楽しかったです。

切石 結女 きりいし ゆめ
女・22歳(初)　千葉県出身　2位 銀
トヨタ自動車
今大会は会場も練習会場も充実しており、ソフトボールに集中できました。アメリカのソフトボール人気を改めて実感しましたし、観客人数も日本よりも圧倒的に多かったです。またあの場に立てるよう、頑張っていこうと思います。ありがとうございました。

工藤 環奈 くどう かんな
女・23歳(初)　青森県出身　2位 銀
ビックカメラ高崎
今回、ワールドゲームズに参加させていただき、とても貴重な経験をさせていただきました。世界のレベルの高さを痛感し、自分自身の技術やメンタル面での強化をしていかなければならないと思いました。まだまだたくさんのことを勉強し、世界で通用する、そして勝負強い選手を目指して頑張りたいと思います。

後藤 希友 ごとう みう
女・21歳(初)　愛知県出身　2位 銀
トヨタ自動車
アメリカならではのいろいろな経験をさせていただきました。今回はコロナになる方もいるなかで試合をしたり、変則なことが多かったですが、それも含めてすべて勉強になりました。いろいろなスポーツの方がいらっしゃったので、選手村の雰囲気がとても良かったです。

坂本 結愛 さかもと ゆい
女・26歳(初)　神奈川県出身　2位 銀
日立
今大会で改めてたくさんの方にソフトボールの魅力を知ってもらうことがソフトボールの普及に繋がると感じました。アメリカを見ていて、多くの熱い応援や地響きのおこるUSAコールが心に響き、感銘を受け、日本もそれ以上に熱い国になって欲しいと思いました。私自身がソフトボールを楽しむことで観ている人に楽しさを伝えられると思うので、日々そういった気持ちで競技に向き合っていきます。ありがとうございました。

内藤 実穂 ないとう みのり
女・28歳(初)　大阪府出身　2位 銀
ビックカメラ高崎
今回の大会はとても良い環境、グラウンドでプレーすることができ、チームとしても良い収穫が得られました。しかし、ソフトボール競技はオリンピック種目としてあるべきだと感じ、もっと普及・発展していくことが大事だと思いました。

中川 彩音 なかがわ あやね
女・23歳（初） 大阪府出身 2位 銀
豊田自動織機
初めての海外での試合は、すごくいい経験になりました。観客の方が盛り上げてくれるような雰囲気があって、とても楽しくソフトボールができました。勝つことの難しさや環境に慣れないこともありましたが、こうして日本代表で戦えたことは誇りに思います。今後もこのような経験ができるように頑張っていきたいと思います。サポートなどありがとうございました。

原田 のどか はらだ のどか
女・30歳（初） 岡山県出身 2位 銀
太陽誘電
アメリカのソフトボールファンの熱は本当に凄かったです。あのような環境でソフトボールが出来たことはとても貴重な経験です。

藤田 倭 ふじた やまと
女・31歳（初） 長崎県出身 2位 銀
ビックカメラ高崎
コロナ禍、大会が開催されて本当に良かったです。これからも競技向上を第一に考えて、精進していきたいと思います。

藤本 麗 ふじもと うらら
女・23歳（初） 広島県出身 2位 銀
ビックカメラ高崎
国際試合は初めてで不安もありましたが、海外選手、仲間や、試合を通して日本リーグとは違った事を学べたと思います。またたくさんの方に応援、サポートしていただいていることを改めて実感しました。これからの競技人生にこの経験を活かし、グラウンドで恩返ししていけるよう頑張ります。

三輪 さくら みわ さくら
女・23歳（初） 愛知県出身 2位 銀
トヨタ自動車
大会前後、食事面・練習面において不自由なく、しっかり準備できたこと、大会スタッフの方にとても感謝の気持ちでいっぱいです。また、現地に足を運んで観に来てくださった現地の方々にも感謝したいです。

スポーツクライミング

●JWGA会員団体 公益社団法人 日本山岳・スポーツクライミング協会

阿部 桃子 あべ ももこ
女・19歳（初） 神奈川県出身 女子リード 7位
相模女子大学

緒方 良行 おがた よしゆき
男・24歳（2） 福岡県出身
男子ボルダリング 3位 銅 男子リード 7位
B-PUMP

谷井 菜月 たにい なつき
女・18歳（初） 奈良県出身 女子リード 2位 銀
明治安田生命

中村 真緒 なかむら まお
女・22歳（初） 東京都出身 女子ボルダリング 3位 銅
日新火災

野中 生萌 のなか みほう
女・25歳（2） 東京都出身 女子ボルダリング 1位 金

樋口 純裕 ひぐち まさひろ
男・29歳（初） 佐賀県出身 男子リード 2位 銀
佐賀県山岳・スポーツクライミング連盟

藤井 快 ふじい こころ
男・29歳（2） 静岡県出身 男子ボルダリング 2位 銀
TEAM au
残念ながら優勝することはできませんでしたが、前回大会の悔しさを晴らすことができました。今後はより良い成績が出せるように精一杯努力していきたいと思います。

スカッシュ

●JWGA会員団体 公益社団法人 日本スカッシュ協会

佐野 ヘリング 愛利紗 さの へりんぐ えりさ
女・21歳（初） カナダ・ケベック州出身
女子シングルス 17位
日本スカッシュ協会 中部支部

渡邉 聡美 わたなべ さとみ
女・23歳（初） 神奈川県出身 女子シングルス 9位
Greetings
今大会ではあまり良い結果を残すことができなかったので、次回もし出場することができたら、メダルを取りたいと思います。

相撲

●JWGA会員団体 公益財団法人 日本相撲連盟

五十嵐 敦 いがらし あつし
男・23歳（初） 岩手県出身 男子重量級
盛岡市役所
外国での試合は初めてでしたが、外国での試合の際は様々な準備が必要だと思いました。また食事面、気候面などのトラブルも考慮した行動が必要であると勉強になりました。今大会は準備不足が良い結果につながらなかったのだと思います。この経験を活かし、今後の競技生活を送っていきたいです。

石井 さくら いしい さくら
女・17歳（初） 千葉県出身 女子中量級 1位 金
東京都立足立新田高校

太田 麻乃 おおた あさの
女・36歳（4） 静岡県出身 女子中量級
永田医療研究所

奥富 夕夏 おくとみ ゆか
女・24歳（2） 千葉県出身 女子軽量級 1位 金
リバーサルジム新宿 Me,We

今 日和 こん ひより
女・24歳（初） 青森県出身 女子無差別級 2位 銀
アイシン
夢の舞台に、夢のような待遇で臨むことができました。いただいた日本代表ユニフォームは現在、会社の正面玄関に飾られています。私の会社は一丸となって応援してくれました。スポーツが競技者・非競技者の枠を超えて、生きる人のインスピレーションになっているとの評価もありました。今後、自身が競技者として活躍することと並行して、スポーツの持っている力をたくさんの人に届ける役割もしていきます。

中村 泰輝 なかむら だいき
男・22歳（初） 石川県出身
男子無差別級 1位 金 男子重量級 2位 銀
日本体育大学

花田 秀虎 はなだ ひでとら
男・20歳（初） 和歌山県出身 男子重量級 1位 金
日本体育大学

久野 愛莉 ひさの あいり
女・23歳（初） 栃木県出身 女子重量級 3位 銅
東洋警備保障
この試合に挑むにあたり多くの覚悟や夢を抱え、アメリカに向かいました。沢山の経験をしましたが一番印象に残っていることはウクライナの選手に国の靴下をもらったことです。共に相撲を通して交流でき、とても嬉しかったことを覚えています。今回は3位でしたので次は世界1位を必ず取ります。夢への挑戦をします。

深野 良太 ふかの りょうた
男・24歳（初） 山口県出身 男子中量級 4位
山口県立下関総合支援学校
今回はコロナウイルスの蔓延により制限がある中でしたが、無事に開催できたことを嬉しく思います。優勝するという目標をもち今大会に臨みましたが、結果は3位決定戦で敗れ4位と満足のできるものではありません。まだまだ力不足であることを実感しました。今後はこの経験で得たものを相撲だけでなく、様々な分野に活かしていきたいと思います。

藤澤 詩音 ふじさわ しおん
男・21歳（初） 富山県出身 男子中量級 2位 銀
近畿大学
今回のワールドゲームズは自分自身にとって初めての世界大会で不安な気持ちもすごくありましたが準優勝することができてほっとしています。しかし優勝は逃したので、また日本代表に選ばれて次こそは優勝できるように今後も自分自身進化を遂げられるよう努力したいと思います。ありがとうございました。

松本 渚 まつもと なぎさ
女・22歳（初） 鳥取県出身 女子中量級 4位
立命館大学
まだまだ知名度が低いと言われる競技でも、世界中から集まった異種競技選手らと共に同じ時間を過ごせたことはかけがえのない思い出になりました。次回も出場出来るよう精一杯競技に取り組むと共に結果を残していきたいです。

山中 未久 やまなか みく
女・28歳（2） 静岡県出身 女子軽量級 2位 銀
クレオテック
世界選手権とはまた違い、ワールドゲームズならではの会場の設備や雰囲気などを感じ、この大会に出場できたことに特別感や充実感を感じられ、心から喜びと誇りを感じました。メダルがとても立派でデザインもカッコ良く、多くの人がメダルを見て感動してくれました。目指していた金メダルは獲れませんでしたが、特別な誇り高いメダルです。この大会に出場できたことでもう一度ワールドゲームズを目指したいと思いました。

水中スポーツ（フィンスイミング）

●JWGA会員団体 一般社団法人 日本水中スポーツ連盟

上野 浩暉 うえの こうき
男・27歳（初） 東京都出身 サーフィス100m 4位
NAIA-Finswimming Team
メダル獲得を目標に挑んだ大会でしたが3位まで0.07秒届かず非常に悔しい結果となりました。フィンスイミング競技は私1人の参加で、個人の力不足だけではなく、日本チームとしての力不足を痛感しました。次のワールドゲームズに向けて、個人でのメダル獲得だけでなく、リレーでも出場権を獲得し、チームとして大会で戦えるよう、日本フィンスイミング界全体のレベルアップを図っていきます。

水上スキー・ウエイクボード

●JWGA会員団体 特定非営利活動法人 日本水上スキー・ウエイクボード連盟

手塚 翔太 てづか しょうた
男・28歳（2） 静岡県出身
男子ウエイクボード フリースタイル 6位
FreshBros

吉原 陽向 よしはら ひなた
女・21歳（初） 広島県出身
女子ウエイクボード フリースタイル 1位 金

公開競技（4競技：34名）

アメリカンフットボール（フラッグフットボール）

●JWGA会員団体 公益社団法人 日本アメリカンフットボール協会

磐田 千紘 いわた ちひろ
女・18歳（初） 東京都出身 5位
ヒューペリオン東京
自分のやっている競技だけでなく、他競技の代表選手たちとも出会うことができてとても楽しかったです。あまり交流できなかったので、今後このような機会があったら交流してみたいなと思いました。今大会ではメダルを獲得することができませんでしたが、この経験からさらにレベルアップして世界大会でより良い結果を残せるよう練習に取り組んでいきたいと思います。

近江 佑璃夏 おうみ ゆりか
女・23歳（初） 大阪府出身 5位
初めてのワールドゲームズ、とても貴重な体験となりました。他の競技の試合や人とは、あまり関われませんでしたが、世界中のアリートが集まる本大会へ参加できて光栄でした。フラッグフットボールは、2028年にオリンピック競技になる可能性があり、今後もそこへ向けて頑張ろうと思える良いきっかけとなりました。

加藤 純奈 かとう じゅんな
女・25歳（初） 岩手県出身 5位
ヒューペリオン東京
個々の選手たちがいろいろな試行錯誤を繰り返して、チームとして1つの方向に向かっていくことを目指した、そんな大会だったと思います。チームが望んでいた結果には届きませんでしたが「自分達のプレーをすること」「できる限りの準備に尽くすこと」「ベストコンディションに持っていくこと」という競技者として楽しく勝つために必要な要素に、今後はより磨きをかけていきたいです。

金谷 明咲妃 かなたに あさひ
女・22歳（初） 兵庫県出身 5位
関西大学 Tailers
悔いの残る試合でしたが、楽しかった事が一番記憶に残っています。たくさんの国の方とフラッグを通してコミュニケーションをとったり、また日本の強さや素晴らしさを見せつけられたのも事実で、凄く良い経験になりました。今大会での反省点も含めしっかり次の大会までに修正し、より良いチームで今大会よりも良い結果を残したいと思っています。

北崎 あかり きたざき あかり
女・18歳（初） 神奈川県出身 5位
ヒューペリオン東京
日本ではフラッグフットボールの大会で観客席が埋まることはないので新鮮でした。日本でもフラッグフットボールの競技人口を増やし、多くの人に関心を持ってもらえるよう貢献出来たらいいなと思っています。

佐伯 涼香 さえき すずか
女・19歳（初） 東京都出身 5位
ヒューペリオン東京
初めて国際大会に参加し、世界の大きさを目の当たりにして、もっと上を目指したいと強く思いました。国境を越え、様々なアスリートたちと仲良くなれたことは、一生の思い出です。フラッグフットボールの普及と発展に向けて、今後も競技の楽しさを選手目線から友達や多くの学生に向け、発信していきたいと思います。

佐藤 由樹 さとう ゆき
女・31歳（初） 神奈川県出身 5位
Z／アイリス

辰野 汐里 たつの しおり
女・25歳（初） 東京都出身 5位
今までにない経験ができました。スタジアムもとても素敵で、大きな会場で競技することができてよかったです。他国の選手とも制限がある中でしたが交流ができ、言葉を超えて通ずるものがありました。今後はこの経験を伝えていけるようにしたいです。

中澤 奏子 なかざわ かなこ
女・26歳（初） 神奈川県出身 5位
FFFC川崎マロンティアーズ
とても貴重な経験となりました。今後オリンピックに向けてフラッグフットボールはますます注目される競技となると思っていますが、少しでも多くの人に興味を持っていただけるよう、所属チームでのSNS活動にも力を入れていきたいです。

中畑 友里 なかはた ゆり
女・19歳（初） 兵庫県出身 5位
宝塚ポラリス
国内ではあんな大きな球戯場でプレーすることはないので緊張しました。今大会での結果に満足することなく、もっと高みを目指していきたいと思います。

三宅 萌 みやけ もえ
女・30歳（初） 兵庫県出身 5位
虹翔∞
世界大会が初めてでしたので、海外の選手と対戦してフィジカルや技術の高さを感じました。世界レベルを体感して競技自体の可能性と面白さを改めて感じることができました。

目黒 七星 めぐろ ななせ
女・18歳（初） 神奈川県出身 5位
FFFC川崎マロンティアーズ
様々な方に支えられ、大会に参加できていることを実感した大会でした。10代という若い年齢で世界大会に参加できた経験を最大限に活かし、今後はさらなる技術の向上に努めていきます。また自分と同世代の選手に世界体験での経験を伝え、フラッグフットボールの更なる発展に貢献できるよう精進していきたいです。

ラクロス（男子）

●JWGA会員団体 公益社団法人 日本ラクロス協会

梅原 寛樹 うめはら ともき
男・26歳（初） 東京都出身 3位 銅
FALCONS
公開競技とはいえ、初の男子ラクロスでメダルを獲得できて本当に良かったです。次回大会は正式な競技として採用されることを願います。

尾花 一輝 おばな かずき
男・25歳（初） 千葉県出身 3位 銅
GRIZZLIES

金谷 洸希 かなや ひろき
男・25歳（初） 東京都出身 3位 銅
GRIZZLIES

小松 勇斗 こまつ ゆうと
男・23歳（初） 東京都出身 3位 銅
GRIZZLIES
今大会で日本ラクロス史上初の「銅メダル獲得」ができましたこと、大変嬉しく思います。普段の日本では経験できないようなレベルの高い海外選手と対峙し、自分の通用した部分、しなかった部分が明確になったことは自分にとって良い収穫になりました。今後もさらに高みを目指し（北米三強に勝てるよう）、最善の準備をして世界大会に臨みたいと思います。

佐藤 大 さとう だい
男・27歳（初） 東京都出身 3位 銅
FALCONS
今までのワールドカップとは異なり、他競技団体が同じ会場にて競技を実施していることが新鮮でした。宿泊施設などで他国の選手と交流し、改めて日本人としての自覚が芽生え、非常に貴重な経験となりました。初めての参加で3位という結果を出すことができ満足しています。次回以降さらに良い結果を出せるよう精進していきたいです。

佐野 清 さの きよし
男・23歳（初） 東京都出身 3位 銅
FALCONS

杉原 暉徳 すぎはら きのり
男・27歳（初） アメリカ合衆国出身 3位 銅

鈴木 潤一 すずき じゅんいち
男・27歳（初） 東京都出身 3位 銅
Stealers

立石 真也 たていし しんや
男・24歳（初） 東京都出身 3位 銅
FALCONS

徳舛 宗哉 とくます そうや
男・29歳（初） 兵庫県出身 3位 銅
FALCONS
初の大会参加で規模の大きさ、日本を代表する責任など様々なことを感じました。また次回出場できるよう今後も努力してしていこうと思います。

夏目 聖矢 なつめ せいや
男・32歳（初） 神奈川県出身 3位 銅
FALCONS

福島 裕樹 ふくしま ゆうき
男・26歳（初） 千葉県出身 3位 銅
GRIZZLIES

トライアスロン（デュアスロン）

●JWGA会員団体　公益社団法人 日本トライアスロン連合

上田 藍　うえだ あい
女・38歳（2）　京都府出身
女子個人 2位　銀　ミックスチームリレー 7位
リソル・稲毛インター
デュアスロン競技は2013年にコロンビア・カリで開催されてから約10年ぶりの開催となり、カリ大会で優勝をしておりましたので、長い時を経てワールドゲームズに挑戦できることを嬉しく感じておりました。結果は2位と連覇は出来ませんでしたが、世界の強豪選手と競い合う充実感を体感し、更なる飛躍に向けて貴重な経験となりました。ありがとうございました。

田中 文也　たなか ふみや
男・30歳（2）　滋賀県出身
男子個人 11位　ミックスチームリレー 7位
神奈川県トライアスロン連合
ワールドゲームズは二度目の出場でしたが、前回よりも日本チームとしてのサポートが手厚くなっておりとてもありがたいと感じました。レースでは今回が私にとっても国際大会過去最高成績となり、今後に向けてさらに上の目標を得ることが出来て、最高の形でワールドゲームズ2022を終えることになり感謝しています。

車いすラグビー

●JWGA会員団体　一般社団法人 日本車いすラグビー連盟

今井 友明　いまい ともあき
男・39歳（初）　千葉県出身　ミックスチーム 2位　銀
三菱商事

小川 仁士　おがわ ひとし
男・28歳（初）　東京都出身　ミックスチーム 2位　銀
バイエル製薬

岸 光太郎　きし こうたろう
男・50歳（初）　埼玉県出身　ミックスチーム 2位　銀
障害者在宅事業グループ
車いすラグビー・ローポインターズゲームへは長年参加を望んでいましたが、なかなかチャレンジする機会に恵まれないでいました。今回このような機会を得ることが出来て嬉しかったです。銀メダルを獲得し、初参加にしては良い成績を収めることが出来ました。多くの国と対戦することで得た経験が一番の成果です。また機会があれば、今回以上の良い内容の試合をしたいと思います。

倉橋 香衣　くらはし かえ
女・31歳（初）　兵庫県出身　ミックスチーム 2位　銀
商船三井

乗松 聖矢　のりまつ せいや
男・32歳（初）　熊本県出身　ミックスチーム 2位　銀
SMBC日興証券
今大会に車いすラグビーのローポインターズゲームが採用された事が非常に嬉しく、参加することを楽しみにしておりました。ローポインターズゲームの国際大会は日本としては初出場となり、選手、スタッフ共に不安の方が大きかったと思いますが、銀メダルを獲得する事ができ、非常に貴重な経験をさせていただきました。この経験を糧にこれからもトレーニングに励んでいきたいと思います。

乗松 隆由　のりまつ たかゆき
男・35歳（初）　熊本県出身　ミックスチーム 2位　銀
AIGジャパン・ホールディングス

長谷川 勇基　はせがわ ゆうき
男・29歳（初）　広島県出身　ミックスチーム 2位　銀
ソシエテ・ジェネラル証券
パラリンピックとは違った雰囲気で、ある種のお祭りのような楽しい大会だったと感じています。ローポインターゲームは国内ではあまり活発ではないので、これを機に盛り上がれたらと思います。機会があればまた出場したいと思います。

若山 英史　わかやま ひでふみ
男・37歳（初）　静岡県出身　ミックスチーム 2位　銀
静岡銀行
車いすラグビーによるローポインターの大会数は普通の車いすラグビーの大会に比べると、とても少ないので自分自身の経験やスキルアップ、そして車いすラグビーの認知度アップにも繋がるとても良い大会になったと思います。今後もこのような大きな大会が開催されることがあれば、今回以上の成績を収められるように頑張りたいです。

デモンストレーション競技
（1競技：3名）

合気道

●JWGA会員団体　公益財団法人 合気会

有馬 隼人　ありま はやと
男・25歳（初）　岡山県出身
合気会 合気道本部道場 指導部
普段は他の競技団体の方々と同じ大会に出ることがないため、今回は非常に貴重な経験となりました。各国の合気道代表選手と共に一つの演武会を作り上げるという意識で大会に臨みました。大会を通して、他国の選手たちとの間に結束力が生まれ、良い関係を築くことができたことが一番良かったことだと感じています。

入江 嘉信　いりえ よしのぶ
男・55歳（3）　熊本県出身
合気会 合気道本部道場 指導部
コロナ禍で初めての海外でのイベント参加でした。諸所の問題点はありましたが、世界中でいろいろと厳しい状況の中で各国の合気道メンバーが協力し合い演武を無事に終えることができたことは素晴らしいことでした。

里舘 潤　さとだて じゅん
男・34歳（初）　岩手県出身
合気会 合気道本部道場 指導部

特定非営利活動法人日本ワールドゲームズ協会
副会長　**渡邉 一利**
（公益財団法人笹川スポーツ財団 理事長）

ワールドゲームズの魅力と価値を再認識できたバーミングハム大会

2022年7月7日。27,000人の大観衆の声援を受け、日本チームが開会式会場に入場しました。統一ユニフォームを身に纏い、日本代表としての矜持と世界の強豪と競う覚悟が各選手から溢れています。

世界的なパンデミックにより、それまでとは生活も練習も一変した選手たちにとって、晴れて開催される国際総合競技大会に大きな希望と可能性を感じていたのです。

大会の詳細は別資料に譲りますが、世界99の国と地域から出場した3,457名の選手が力の限りを尽くし、観客を熱狂させました。もちろん、勝負は時の運という面もあり、大会までのコンディショニングや当日の競技環境に影響を受けることもあります。

今大会には、空手、パワーリフティング、ボウリングといった第1回大会から継続する競技種目に加え、ブレイキンやパルクールなど新しい都市型スポーツも加わりました。また、パラスポーツの車いすラグビーが公開競技として採用されています。私自身、5回目のワールドゲームズ参加でしたが、分断と調和が注視される国際社会の中で、スポーツを取り巻く環境の変化と併せ、各競技種目の魅力や価値を再認識できた11日間でもありました。

ここで、選手団長として何よりも嬉しかったことを3点挙げます。第1に、国際ワールドゲームズ協会との連携協定を締結したことです。長年にわたる日本ワールドゲーム協会の活動が認められ、今後のワールドゲームズの普及や世界平和の推進を連携して取り組む内容となっています。第2に、従来大会以上に多くの日本選手が他競技を積極的に観戦し、特に日本選手に大きな声援を送っていたことです。科学的な分析は不可能ですが、統一ユニフォームを着用した結団式、入場行進などチームジャパンとしての一体感の醸成を垣間見た気がします。第3に、各競技別チーム間の連携を挙げます。大会前からJWGA事務局の主導で各競技団体間の情報共有が図られていました。大会期間中はJWGA事務局がハブとなり各競技別チームの情報共有ネットワークが構築され、試合日程や競技結果に関する情報はもちろん、新型コロナウイルスに感染した選手の対応、帰国延長に伴う諸手続きの方法など、縦横無尽の情報共有と連携がみられました。

こうした連携が間接的ではありますが、日本代表選手による史上最多33個のメダル獲得に繋がったのだと思います。

余談ですが、東京2020大会では3つの基本コンセプトが大会ビジョンとして掲げられました。「全員が自己ベスト」「未来への継承」そして「多様性と調和（ダイバーシティ&インクルージョン）」です。私はボランティア組織の代表として、大会ボランティア及び都市ボランティアの育成支援に約5年の時間を尽くしました。あれから1年、立場を変えて率直な感想を申し上げます。出場選手のみならず、全ての大会関係者、ボランティア、観客、地元住民等によって、東京2020大会で掲げられたビジョンを目に見える形で体現できた、価値ある「ワールドゲームズ・バーミングハム大会」だったと思います。

おわりに、選手団長を務めた立場、そしてJWGA副会長として宣誓します。IWGAとの連携協定を具現化するために、各競技団体並びに選手の皆さんとチーム一丸となって、時代を拓き歩んで参ります。

Thank you World Games,
Thank you BIRMINGHAM !

開会式前の控室にて!

Highlights 大会ハイライト

**バーミングハム大会での日本選手の健闘を
ハイライトでご紹介します。**

開会式にて、大観衆のスタジアムに入場する日本選手団。ひときわ大きな歓声が上がる

メダル第1号はパワーリフティング 好発進の日本選手団

2022年7月7日、プロテクティブスタジアムでワールドゲームズ2022バーミングハム大会の開会式が行われた。世界的なパンデミックの影響で一年延期となり、多くの措置を講じた上で実施に至った本大会。開催を待ち望んでいた27,000人もの観衆の大歓声とともに、11日間の夢の舞台が開幕した。

競技初日に行われたのは、パワーリフティング。ワールドゲームズ6大会連続出場を果たした福島選手が堂々の金メダルを獲得し、今大会メダル第1号となった。さらに男子軽量級では、初出場の佐竹選手が金メダルを獲得。佐竹選手は「念願の出場。最高の結果を残すことができた」と喜びを語った。続く空手では、男子個人形の本選手が金メダル、女子個人形の大野選手が銀メダル、女子組手50kg級の宮原選手が銅メダルを獲得するなど、日本選手団は初日から好調なスタートを切った。

空手 男子形で優勝した本一将選手

競技2日目の相撲では、男女で7個（金3・銀3・銅1）のメダルを獲得し、並み居る世界の強豪を圧倒する結果に。試合を一目見たいと、会場には朝早くから親子連れなど多くの観客が詰めかけ、終始歓声が響き渡った。

今大会から体操の種目となったパルクールで、銅メダルを獲得した泉ひかり選手

続く競技3日目、注目の新種目ブレイキン（ダンススポーツ）では、湯浅選手が圧倒的な実力をみせ、見事優勝。福島選手、半井選手も熾烈なマッチアップの末、それぞれ銅メダルを獲得した。そして、同会場で行われた種目パルクール（体操）では、泉選手がスピードで銅メダルを勝ち取った。また相撲では、中村選手が前日の重量級銀メダルに続き、無差別級で金メダルを獲得。女子無差別級では、今選手が銀メダルを手にし、相撲だけで今大会通算9個のメダル獲得となった。その他ライフセービングやフィールドアーチェリー、ドローンレース、公開競技のフラッグフットボールなどが行われた。

競技4日目、パルクールの泉選手が前日のスピード種目に続き、フリースタイル種目でも銅メダルを獲得。今大会2つのメダルを手にした泉選手は、「大きな舞台で日本代表としてメダルを獲得できて光栄」と笑顔で話した。

連日の猛暑の中、日本勢躍動！

競技5日目、公開競技である男子ラクロスが最終日を迎えた。3位決定戦で日本はイギリスと対戦し、第4クオーターまで18対18の両者譲らぬ闘いが繰り広げられた。試合は延長戦までもつれたが、見事日本が勝利し、銅メダルを獲得。国際大会初のメダル獲得となり、日本のラクロス界に新たな歴史が刻まれた。

折り返しとなる競技6日目。ソフトボールの決勝戦が行われた。対戦相手のアメリカは、昨夏の東京オリンピックでも決勝で戦い2対0で制している。今大会は接戦の末、2対3で敗れ、あと一歩及ばず、銀メダルとなった。

競技7日目は、ビリヤード、フライングディスク、ラクロス（女子）、スカッシュ、ウエイクボード・水上スキー、車いすラグビーなどが行われた。一進一退の攻防もあれば、順当に勝ち進む競技もあり、日本勢の奮闘が見られた。2028年ロサンゼルスオリンピックの追加競技として初採用を目指すフラッグフットボールは、この日、競技の全日程が終了。日本は8チーム中5位という結果だったが、上位チームとの実力僅差で引けを取らない試合運びを展開した。

日本選手メダル第1号となった6大会連続出場のパワーリフティング福島友佳子選手

ラクロス男子が奮闘の末、銅メダルを獲得

ブレイキンで銅メダルを獲得した半井重幸選手

ウエイクボードで金メダルを獲得した吉原陽向選手

大会終盤、初出場選手の快進撃続く

競技8日目、スポーツクライミングの女子ボルダリングで野中選手が金メダル、初出場の中村選手が銅メダルを獲得。男子ボルダリングでは藤井選手が銀メダル、緒方選手が銅メダルを獲得し、日本のスポーツクライミング勢の実力を世界に証明した。また体操では、男子ダブルミニトランポリンに出場した谷口選手が銅メダルを獲得した。

銅メダルを獲得した初出場の
スポーツクライミング中村真緒選手

3位決定戦を制した
ビリヤード平口結貴選手

競技9日目のウエイクボードでは、フリースタイルで初出場の吉原選手が見事金メダルを獲得。デュアスロンでは、2013年大会（コロンビア）で優勝経験を持つ上田選手がトップと僅差で銀メダルを獲得した。さらにスポーツクライミングでは、前日の4個のメダルに続き、リードで初出場の谷井選手と樋口選手がともに銀メダルを獲得し、今大会通算6個のメダル獲得となった。ビリヤードでは初出場の平口選手が3位決定戦を制し、銅メダルを勝ち取り、喜びを爆発させた。平口選手は「今後もより良いパフォーマンスができるよう励んでいきたい」と早くも次大会への意欲をみせた。

競技最終日の10日目、公開競技としてワールドゲームズで初めて実施された車いすラグビーの決勝戦が行われ、日本は惜しくもイギリスに敗れたものの、全6戦中4勝という好成績を収め、強豪国がひしめく中、チーム一丸となって銀メダルを掴んだ。

10日間におよぶ熱戦は、この日の競技終了とともに閉幕した。今大会、日本からは21の競技に137名のトップアスリートが参加。前回大会よりも大きく上回る金10、銀11、銅12の計33個のメダルを獲得するめざましい活躍がみられた。

閉会式では、次回2025年の開催地である中国・成都の代表団にワールドゲームズ旗が手渡され、4年後の大会に向けバトンが引き継がれた。

見事銀メダルをつかんだ新種目の車いすラグビー 日本チーム

日本選手メダル獲得一覧

33個（金10個、銀11個、銅12個）／前回大会［22個（金9個、銀6個、銅7個）］

競技	種目			
ダンススポーツ	ブレイキン（B-Girls）	湯浅亜実		金
空手	男子個人形	本一将		金
パワーリフティング	男子軽量級	佐竹優典		金
パワーリフティング	女子軽量級	福島友佳子		金
スポーツクライミング	女子ボルダリング	野中生萌		金
相撲	女子軽量級	奥富夕夏		金
相撲	女子中量級	石井さくら		金
相撲	男子重量級	花田秀虎		金
相撲	男子無差別級	中村泰輝		金
水上スキー＆ウエイクボード	女子ウエイクボード（フリーススタイル）	吉原陽向		金
空手	女子個人形	大野ひかる		銀
ソフトボール	女子	我妻悠香 市口侑果 川畑瞳 工藤環奈 坂本結愛 中川彩音 藤田倭 三輪さくら	石川恭子 勝股美咲 切石結女 後藤希友 内藤実穂 原田のどか 藤本麗	銀
スポーツクライミング	女子リード	谷井菜月		銀
スポーツクライミング	男子リード	樋口純裕		銀
スポーツクライミング	男子ボルダリング	藤井快		銀
相撲	女子軽量級	山中未久		銀
相撲	男子中量級	藤澤詩音		銀
相撲	男子重量級	中村泰輝		銀
相撲	女子無差別級	今日和		銀
トライアスロン	デュアスロン	上田藍		銀
車いすラグビー	ミックスチーム	今井友明 岸光太郎 乗松聖矢 長谷川勇基	小川仁士 倉橋香衣 乗松隆由 若山英史	銀
ビリヤード	プール	平口結貴		銅
ダンススポーツ	ブレイキン（B-Boys）	半井重幸		銅
ダンススポーツ	ブレイキン（B-Girls）	福島あゆみ		銅
体操（ダブルミニトランポリン）	男子	谷口遼平		銅
体操（パルクール）	女子スピード	泉ひかり		銅
	女子フリースタイル			銅
空手	女子組手50kg級	宮原美穂		銅
ライフセービング	4×50m障害物リレー	安藤秀 髙須快晴	板場貴大 平野修也	銅
スポーツクライミング	男子ボルダリング	緒方良行		銅
スポーツクライミング	女子ボルダリング	中村真緒		銅
相撲	女子重量級	久野愛莉		銅
ラクロス	男子	梅原寛樹 金谷洸希 佐藤大 杉原暉徳 立石真也 夏目聖矢	尾花一輝 小松勇斗 佐野清 鈴木潤一 徳舛宗哉 福島裕樹	銅

競技別メダル獲得数

【公式10競技／30個】
ビリヤード1個、ダンススポーツ3個、空手3個、ライフセービング1個、
体操3個、パワーリフティング2個、ソフトボール1個、
スポーツクライミング6個、相撲9個、水上スキー＆ウエイクボード1個

【公開3競技／3個】
トライアスロン1個、ラクロス（男子）1個、車いすラグビー1個

Medalist Interview

メダリスト
インタビュー

Dance Sport

ダンススポーツ ブレイキンB-Girls　金メダリスト

湯浅亜実選手

― ワールドゲームズ初出場の感想をお聞かせください。

他競技の選手と一緒に参加する大会が初めてだったので、始まる前からすごくワクワクしていました。開会式の華やかさはもちろんですが、どの試合もお祭りのように盛り上がっていて新鮮でした。参加競技や国籍は違えど、スポーツが大好きな人々が集結して、楽しんでいる姿が印象的でとても楽しかったです。私が出場したブレイキンの会場も、すごく盛り上がっていて、楽しく競技に臨むことができました。

― ブレイキンダンスの魅力とは。

出場者全員が輝けるところです。たとえばタイムを競うスポーツだと、どうしても一番早い人に注目が行きがちですが、ブレイキンの場合は、一人一人違うアプローチの仕方があって、それぞれが自分の好きなように表現します。勝ち負けに限らず、見ている人に感動を与えられるのがブレイキンの魅力だと思います。

― 今後の目標は。

今後もこれまで通り、自分の今一番近くにある大会に集中したいと思います。2024年のパリオリンピックにブレイキンが新種目として追加されたので、頭の片隅でそのことを常に意識していますが、カルチャーサイドのイベントやローカルなイベントなど、比較的規模の小さな大会にも全力で挑み、大切に取り組んでいきます。

Profile　ゆあさ・あみ　1998年生まれ、埼玉県出身。6歳からヒップホップダンスをはじめ、10歳でブレイキンを本格的に始める。19歳から数々の大会に出場し、多くの賞を獲得。2024年パリオリンピックでの活躍が期待されている。

ワールドゲームズ競技種目の中から、メダリストの4名・ダンススポーツ ブレイキン 湯浅選手、パワーリフティング 福島選手、相撲 花田選手、ソフトボール 後藤選手にインタビュー。大会の振り返りや感想、今後の目標などを伺いました。

Powerlifting

パワーリフティング 女子軽量級　金メダリスト

福島友佳子選手

— 今回のワールドゲームズの感想をお聞かせください。

今大会に出場するために、引っ越したり、地元へ帰ったりと、練習環境や仕事環境をすべて変えて、一から挑みました。パワーリフティングの世界最高峰ともいえるワールドゲームズで、念願の金メダルを取ることができて、本当に嬉しかったです。偶然にも、パワーリフティングは開会式の翌日が競技の日程だったため、今大会金メダル第1号のという嬉しいおまけまでいただいて、とても思い出深い大会となりました。

— パワーリフティングの魅力とは。

パワーリフティングは、スクワット、ベンチプレス、デッドリフトの「立つ、押す、引く」という人間の基本的動作の重量を争う競技です。年齢やセンス関係なく、動作を覚えて少しずつ重さを上げていけば、誰でも必ず強くなれるところがパワーリフティングの魅力です。疲れを残さないために休養をしつつ、練習を重ねることで、体も精神も鍛えることができます。実は世界大会には70代のチャンピオンの方もいらっしゃるんです。競技を始めるのに遅いということはないので、興味があれば何歳からでも挑戦してみてほしいです。

— 今後の目標は。

2025年に中国で開催されるワールドゲームズに出れるよう、また調整をしていく予定です。私にとってワールドゲームズは、特別な思い入れのある大会なので、7回目のワールドゲームズ出場に向け、一日一日を大切に練習を重ねていこうと思います。

Profile　ふくしま・ゆかこ　1970年生まれ、兵庫県出身。1991年、近畿大会初出場。ワールドゲームズのほか、全日本パワーリフティング選手権大会、世界選手権大会、世界ベンチプレス大会などで優勝多数。2012年、世界パワーリフティング連盟で日本人女性初の殿堂入りを果たす。今大会、6大会連続6度目の出場で悲願の金メダルを獲得。

Medalist Interview
メダリストインタビュー

Sumo

相撲 男子重量級　金メダリスト

花田秀虎 選手

― ワールドゲームズに初出場した感想をお聞かせください。

今回大会は、相撲の観戦チケットが一番最初に売り切れたと聞きました。相撲という日本のカルチャーが世界中で関心を持たれていることを改めて実感する機会となり、相撲の奥深さを再認識しました。僕は現在、アメリカンフットボールをメインに取り組んでいるのですが、アメフトの本場であるアメリカの地で、相撲の試合に挑めたことがとても光栄で、感慨深いものがありました。

― ワールドゲームズの魅力とは。

他競技の選手とも交流ができるところです。国籍も、普段取り組んでいるスポーツも違う選手たちと仲良くなれたことがとても嬉しかったです。私はポーランドのラクロスの選手と、ドイツの監督の方と友達になりました。競技や立場を超え、多くの人と出会えるところがワールドゲームズの魅力のひとつだと思います。

― 今後の目標は。

ワールドゲームズに参加させていただいたことで、アメリカの文化や、素晴らしい感性に触れることができ、刺激を受けました。会場の熱気や選手の方々のパワフルさに自分も鼓舞され、とても貴重な経験となりました。今後は、この経験をアメフトにも活かし、最終的にはアメフトの最上位リーグであるNFLに入り、活躍することが今の目標です。一歩一歩、成長していけるよう頑張ります。

Profile　はなだ・ひでとら　2001年生まれ、和歌山県出身。格闘技一家に育ち、小学2年生で相撲を始める。高校2、3年時に世界ジュニア相撲選手権の無差別級で2連覇。日本体育大学進学後、20年の全日本選手権で優勝し「アマチュア横綱」となる。22年9月、相撲とアメリカンフットボールの両立をやめ、米プロフットボールNFL入りを目指し、アメリカンフットボールに専念する意向を示した。

Softball

ソフトボール　銀メダリスト

後藤希友選手

― ワールドゲームズに初出場した感想をお聞かせください。

環境や空気感など、オリンピックにとても近い雰囲気を感じました。満員の観客の中、熱気あふれる空間で試合をできたことが何よりも楽しかったです。結果は銀メダルでしたが、収穫も多くあったので、次の大会ではこの経験を活かして頑張りたいと思います。また、開会式も豪華で印象的でした。花火やライブパフォーマンスなどの演出はさることながら、東京オリンピックでは体験できなかった、「観客のいる開会式」を初めて体験することができて感動しました。

― ソフトボールの魅力とは。

何が起こるかわからない緊張感があるところに魅力を感じます。ほかのスポーツももちろんそうですが、ソフトボールは特に、1点で試合の流れが大きく変わることがあるスポーツです。試合展開を予測できない点は、観戦していても楽しいと思いますし、そういったところに魅力を感じてファンになってくださる方も多いです。

― 今後の目標は。

まずは直近の世界選手権に向けて、さらに練習を強化していきます。そして2028年開催のオリンピックの競技種目にソフトボールが選ばれることを目標に、ソフトボールの魅力が伝わるようPRにも力を入れていきたいです。自分自身をより成長させ、再び大きな舞台に立つことを目指して頑張ります。

Profile　ごとう・みう　2001年生まれ、愛知県出身。ポジションは投手。小学4年生の時にソフトボールを始める。高校卒業後、実業団のトヨタ自動車レッドテリアーズに入団。22年、ソフトボール日本代表選手として東京オリンピックに出場し、好投で日本の金メダル獲得に貢献。

Photo Gallery
フォトギャラリー

Opening Ceremony

ドローンによる開催国のアメリカ国旗

大歓声に包まれるスタジアム

各会場では連日多くのオーディエンスが声援を送っていた

複数の流派や種類がある伝統的な武術

長い床の上を連続で回転して演技を行うタンブリングと
ダイナミックな動きが美しいアクロバット体操

砂のコートで行うビーチハンドボール

金属球を使うブールスポーツ

屋内で行われるインラインホッケー

1人用のカヌーに乗って行うカヌーポロ

激しく蹴り合うキックボクシング

的を射て得点を競うフィールドアーチェリー

壁に囲まれたコートでボールを打ち合うスカッシュ

1周約2kmの周回コースを10周漕ぐカヌーマラソン

男女のペアで踊るラテンダンス

個人種目別で行われる新体操

40m×20mの室内リンクで行なわれるフロアボール

空中をジャンプする水上スキー

バレーボールの前身といわれる
フィストボール

着地点の正確性を競う
エアースポーツ・アキュラシー

突き・蹴り・関節技・投げ技等を競う柔術

時速50kmにも達するローラースポーツ（スピード）

Photo Gallery
フォトギャラリー

日本でも馴染み深い
テンピンボウリング

特設のウォールで行われたスポーツクライミング

連携協定（MOU）の調印をおこなったIWGA ホセ・ペルレナ・ロペス会長（右から2番目）、JWGA渡邉一利副会長（左から2番目）と師岡文男執行理事（左端）、ヨ―ヒム・ゴッソウCEO（右端）

熱戦を繰り広げたソフトボール 日本対アメリカの決勝戦

1位と僅差の銀メダルを獲得したデュアスロン 上田藍選手（左）

地元テレビ局から取材を受ける
JWGA師岡執行理事

今大会も老若男女、多くのボランティアが
大会を支えた

ラクロス会場（大学施設）

水上スキー・ウエイクボード・カヌーマラソン会場

ライフセービング・フィンスイミング・ポロカヌー会場

選手村は大学施設を利用

Closing Ceremony

2025年の開催都市・成都市（中国）にIWGA旗が手渡される

閉会式では、スポーツを通じた平和的な一体感の表れとして、入場行進は国別に分かれることなく、混ざり合いながら行進した

2022
BIRMINGHAM, USA

DATA

- **大会名**
  ワールドゲームズ2022・バーミングハム大会
  （英語表記:The World Games 2022, Birmingham, USA）
- **大会回数**
  第11回目
- **開催時期**
  2022年7月7日～17日
  ※当初2021年の開催予定、COVID-19の影響により1年遅れての開催
- **開催場所**
  アメリカ合衆国 アラバマ州 バーミングハム（人口21万人）
  ・同国で2回目の開催（1回目:1981年サンタクララ［第1回大会］）
  ・世界的なパンデミック、ウクライナ戦争、記録的なインフレという未曾有の事態の中、開催都市（バーミングハム及びアラバマ州）の名を世界中に高めることに成功。経済的・社会的に多大な影響をもたらしたと評価（IWGA）
- **参加国**
  99カ国（6大陸）
- **競技数**
  公式30競技、公開5競技（58種目）
- **参加選手**
  3,457名
- **日本からの参加選手**
  137名（公式17競技、公開4競技）
- **メダル獲得国**
  73カ国
  上位国 ①イタリア（49個）、②ドイツ（47個）、③ウクライナ（45個）、④アメリカ（44個）、⑤フランス（42個）、⑥日本（33個／金10個、銀11個、銅12個※日本では過去最多）
- **経済効果**
  1億6,500万ドル（日本円約220億円:135円/$換算）
  ・直接効果、間接効果、誘発効果を含む
- **観客動員数**
  140,217人（チケット購入による）
- **大会の満足度**
  観客91%、選手86%
- **テレビ中継**
  19放送局（61地域）
- **視聴者数**
  2億6,800万人
- **オリンピック・チャンネルでの視聴**
  558万回（https://olympics.com/）
- **ソーシャルメディアのユーザー数**
  3億3,500万人
- **ボランティア**
  7,663人（延べ16万8,000時間以上のサポート）
- **市民の意識**
  バーミングハムとジェファーソン郡の地元市民の90%がワールドゲームズを開催したことを誇りに感じ、89%が地域に良い影響を与えたと感じている。
- **主催**
  国際ワールドゲームズ協会（IWGA）
- **後援**
  国際オリンピック委員会（IOC）
- **主管**
  バーミングハム組織委員会（BOC）

*IWGA 評価報告書より（2022.12.19）

ファイテン株式会社
代表取締役　平田 好宏

チームJAPANとしての一体感、モチベーションにウエアで貢献

「ワールドゲームズ2022バーミングハム大会」開催に関わった選手はじめ関係者の皆さま、今大会で日本代表ウエアを協賛させていただきましたファイテン株式会社と申します。弊社の製品をご愛用いただき誠にありがとうございました。改めまして心より御礼申し上げます。

選手団が帰国し、関係者様とリモートで面会して遠征のご報告を受けた際には、チームJAPANが過去最多の33個のメダルを獲得したこと、その表彰台で各選手がファイテンのロゴマークが入った代表ウエアを着用され輝いている姿があったお話を伺いました。また今回のワールドゲームズでは念願であった代表ウエアを提供いただき、「チームJAPANとして過去にない一体感とモチベーションが生まれました！」と、とても感慨深いお話を聞かせていただきました。

関係者の皆さまにも大会期間中に毎日着用する中で着心地の良いウエアであることを実感され、製品の品質や機能に対してお褒めの言葉をいただいたことは、微力ながらALL JAPANチームの活動のお力添えができていたと自負し、とても嬉しく思っております。このワールドゲームズ2022バーミングハム大会で日本代表ウエアを担当させていただいた実績を今後のスポーツウエア事業の発展に活かして参りたいと思います。

最後になりますが、ファイテン株式会社は健康・スポーツの両面から選手のボディケアをサポートするという理念がございます。皆さまにご提供したウエアはファイテン社が独自に開発したリラックス技術を施した「着るボディケア」をコンセプトとしたウエアです。自主トレや普段の生活の際に改めて袖を通していただき、前屈や捻転などを試して改めて身体の動きなどをぜひ感じてみてください。

来たる2025年中国・成都大会（第12回大会）へ向けて新たな始動も始まると思いますが、新型コロナウイルス禍が早く収束し、選手・関係者の皆さまが安全かつ健康な環境で大会へ臨んでいけることを心より願っております。

記者発表&日本代表選手壮行会（結団式）

記者発表

2022年6月21日（火）、日本ワールドゲームズ協会（JWGA）主催による記者発表と、日本代表選手の壮行会（結団式）が東京都新宿区のJAPAN SPORT OLYMPIC SQUAREにて行われました。新型コロナウイルス感染症の社会情勢に鑑み、選手及び関係者の健康と安全を考慮し、出席人数を制限した中で開催し、来賓の皆さま方にもご出席いただきました。ライブ配信も行い、会場に来られなかった選手や関係者の方々はオンラインにて出席いただきました。

記者発表では多くの報道関係者に出席いただき、赤木恭平会長の挨拶後、師岡文男執行理事から「ワールドゲームズを通じて、オリンピック競技以外でもこんなにたくさんの楽しい競技があることを知っていただきたい。スポーツ実施人口の増加に貢献したい」など、ワールドゲームズの概要説明がありました。

赤木恭平 JWGA会長

師岡文男 JWGA執行理事

記者発表の様子はこちらから
https://www.youtube.com/watch?v=12vE3h-k5g8&t=273s

壮行会（結団式）

壮行会では、室伏広治スポーツ庁長官、山下泰裕日本オリンピック委員会（JOC）会長、芦立訓日本スポーツ振興センター（JSC）理事長、駐日米国大使館レイモンド・グリーン首席公使より激励の言葉をいただきました。その後、各選手より意気込みと競技の魅力を紹介。日本選手団団長の渡邉一利JWGA副会長からのビデオメッセージを放映後、選手団を代表し、空手男子形の本一将選手とラクロス女子の田中希実選手による選手宣誓を行いました。

会場に集まった代表選手

競技の魅力や大会への抱負を説明

室伏広治 スポーツ庁長官

選手のみなさまの寸暇を惜しんでの努力に敬意を表します。日頃の成果を存分に発揮するとともに、スポーツを通じた国際親善にも是非つとめていただきたいです。

山下泰裕 日本オリンピック委員会会長

東京オリンピックでの選手の活躍の背景には、競技間の連携、団としての結束などがありました。日本選手団としての誇りを持ち、前向きな雰囲気で輝いてもらいたいです。

芦立訓 日本スポーツ振興センター理事長

大会派遣にはスポーツ発展のための寄付という意味を込めて購入いただいている「スポーツくじ」の収益が使用されています。大会で自己ベストを更新することを心より祈念します。

レイモンド・グリーン 駐日米国大使館首席公使

バーミングハムで開催されることを本当に誇りに思います。この大会が人の絆を深める機会となることを願っています。選手のみなさまが最高のパフォーマンスを披露できるよう期待しています。

壮行会（結団式）の様子はこちらから
https://www.youtube.com/watch?v=Y2XvWQiA0UY

phiten

チタンパワーテープついに世界で21億※マーク突破!

※パワーテープシリーズ累計出荷数2021年11月時点　当社調べ

ボディケアテープ部門 ランナー使用率 No.1

詳しくはこちら ≫

すべての
スポーツに
エールを

スポーツくじの収益は、
日本のスポーツを育てるために
使われています。

くじを買うはエールになる

スポーツくじ　WINNER SOCCER・BASKETBALL　toto FOR ALL SPORTS OF JAPAN　BIG

19歳未満の方の購入又は譲り受けは法律で禁じられています。払戻金も受け取れません。運営・販売：独立行政法人日本スポーツ振興センター

主催者挨拶

皆さまは
私たちの家族です

国際ワールドゲームズ協会
会長　ホセ・ペルレナ・ロペス

International World Games Association（IWGA）
President José Perurena López

カヌースプリントの元スペイン代表選手。2010年から2014年まで国際ワールドゲームズ協会（IWGA）の理事を務め、2014年会長に就任。国際カヌー連盟（ICF）では、2000年から2004年まで事務局長、2008年から2021年まで会長、現在名誉会長。国際オリンピック委員会（IOC）では、2011年から2019年まで委員を務めた。

THE WORLD GAMES

国際ワールドゲームズ協会（IWGA）

1980年設立。国際オリンピック委員会（IOC）の承認と支援を受け、39の国際競技連盟からなる非営利の独立した国際組織
本部：スイス・ローザンヌ

www.theworldgames.org

平和と調和によって共存できることを証明した大会

私たちIWGAは、ワールドゲームズが終わるたびに、大会の呼称を考えます。そこで今大会は、「Comeback Games（戻ってきた大会）」と呼ぶことにしました。新型コロナウイルス感染症の大流行で、あらゆるスポーツが活動を大きく制限された2年間を経て、開催を待ち望んでいたアスリートと加盟団体が一堂に会し、最高のパフォーマンスを見せてくれました。素晴らしいスポーツの祭典であることを証明しただけでなく、誰しもが平和を渇望しているこの不安定な時代に、懸命に競い合いながらも、平和と調和によって共存できることを示してくれました。

とはいえ、今大会は単なる「戻ってきた大会」ではなく、「アスリートたちの大会」でもありました。バーミングハムでの大会期間中、スポーツの檜舞台に戻ってきたことを選手たち自身が喜んでいたのは明らかでした。彼らはワールドゲームズの本質、すなわち「激しく競い合い、平和と調和に生きる」を懸命に体現しながらも心から楽しんでいました。IOCのトーマス・バッハ会長が今大会を訪れた際、「選手が幸せであれば私たちも幸せです。そして選手の皆さんはここバーミングハムで幸せを体感しています」と話されました。

公式ソーシャルメディアを通じて、選手たちの喜びに満ちた声が私たちのところに届いています。これは確かな数字としても表れています。今大会を評価するため、Quantum社に調査を委託したところ、参加選手の86%が「満足」、「とても満足」と答えています。これらの評価だけでなく、10日間の競技期間中に34の競技が実施され、観戦チケットを377,000枚発行し、99カ国3,457人の選手が金メダルを目指して競い合い、過去最多の73カ国の選手がメダルを獲得したことから、これがワールドゲームズ、すなわち世界大会であることが明らかになりました。

日本におけるワールドゲームズの重要性

今大会、日本代表選手団は素晴らしい結果を残しました。金メダル10個、銀メダル11個、銅メダル12個を獲得し、国別総合メダル数で日本は6位でした。この事実は、過去の全大会と比較しても、ワールドゲームズが日本で重要性を増していることの証だと思います。過去のメダル獲得数は、2017年ポーランド・ヴロツワフ大会で22個、2013年コロンビア・カリ大会で10個、2009年チャイニーズタイペイ・高雄大会で15個、2005年ドイツ・デュイスブルク大会で18個でした。2001年日本・秋田大会では、総メダル数25個を獲得し、国別総合メダル数で7位でした。初開催となった1981年のアメリカ・カリフォルニア州サンタクララ大会以降の全大会を平均しても、日本は上位10カ国に入っています。ワールドゲームズと日本は親和性があり、過去40年以上にわたってその関係の持続可能性が示されてきたことがわかります。

日本においてワールドゲームズの重要性が増していることは、別のデータからも確認できます。日本代表選手の出場人数はバーミングハム大会で138人、ヴロツワフ大会で98人、カリ大会で76人です。アジアの国・地域でこれを上回る選手数を今大会に送り出した国はありません。加えて、大会最年少である14歳で新種目ドローンレースに出場した上関風雅さんも日本代表選手です。1981年のサンタクララ大会に出場された伊差川浩之さんは、今回パワーリフ

ティングのコーチとして参加されました。私たちは彼の献身を称え、Instagramの公式生配信番組に彼の話を投稿しました。

さらに忘れてはならないのが、日本選手団が大会期間中、ハイライトとなるワンシーンを提供したことです。アメリカ対日本のソフトボールのリターンマッチを1万人を超える観客が見守りました。アメリカ代表チームは、東京オリンピックで敗れた後、雪辱を晴らそうと燃えていました。この決勝戦は今大会でもっとも待ち望まれた試合のひとつでした。この対戦が町中の話題にとどまらなかったことは、ワールドゲームズがスポーツの世界で重大な意義を有しているといえます。大会の模様を伝えた番組は、世界で2億7,000万人の人々が視聴しました。

日本が残したワールドゲームズのレガシー

日本とワールドゲームズのつながりは、まがいもない成功例です。1981年の第1回大会では参加58カ国に日本も名を連ねていました。そして、何といっても2001年秋田大会はレガシーを残しました。デュイスブルクから来た視察団は、秋田のワールドゲームズプラザに深い感銘を受け、自国開催時に競技とは別に文化的なプログラムを実施しようと考えたのです。それ以来、大会期間中、このプログラムを提供することが各開催国の義務となっています。

2001年大会のもうひとつのレガシーは日本ワールドゲームズ協会（JWGA）です。1991年に設立されたJWGAは、2001年の第6回大会を秋田県で開催するまでに成長しました。以降、JWGAはワールドゲームズにおいて日本を重要な地位につけるために大きな役割を果たしています。皆さまは真の「ファミリー」です。その意義は、JWGAの役員の一人である師岡文男氏がIWGAにおいても4年間役員を務めていたことからもわかります。

日本ワールドゲームズ協会は、IWGAと国際スポーツ団体との協力関係におけるロールモデルといえるでしょう。現在、イスラエルやその他複数の国に同様の組織があります。ポーランドでは、2017年大会後に同様の団体が設立されました。国内オリンピック委員会（NOC）がオリンピックに採用されていない競技を担当する際、NOCに緊密な協力を求めることが現在の私たちの戦略の一つです。その他の国では、JWGA等の中央競技団体（NSO）がIWGAの協力相手になります。

アスリート支援における日本の姿勢は模範

私たちは、選手こそが舞台の中心にいて、最高のコンディションで競技に臨むべきであると考えています。これを叶えるには、各国による自国の選手への支援が不可欠です。今大会における日本の取り組みは模範的でした。思い出すのは、日本人選手の間で新型コロナウイルスの感染が起きたとき、担当者が感染した選手たちを大変丁寧に対応していたことです。ワールドゲームズでチームJAPANとして戦えることは、選手にとって誇りであり、モチベーションにつながることでもあります。

見落としてはならないのは、アスリートを支援することは未来への投資に繋がるということです。IWGAの加盟競技から、数多くの競技や種目がオリンピック競技に採用されています。東京五輪での例を挙げると、2017年ヴロツワフ大会後、空手、スポーツクライミング、ローラースポーツ（スケートボード）、ソフトボール、サーフィンが採用されました。パリ五輪では、今大会の一種目であったブレイキンも新たに加わります。逆に言えば、ワールドゲームズ・ファミリーから選手を登用すれば、オリンピックの出場選手を1から決める必要はありません。ブレイキンを例にとりましょう。日本は金メダル1個と銅メダル2個を獲得しました。パリ五輪でもメダル獲得は夢ではないのです。

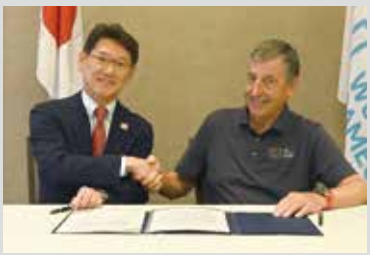
IWGAとJWGAの連携を強化

特筆すべきは、今年韓国・ソウルで行われたANOC（国内オリンピック委員会連合）国際会議でのNOCとNSOの結びつきの重要性です。IWGAのヨーヒム・ゴッソウ最高責任者は、IWGAとJWGA間の連携協定締結（MOU）に触れ、今大会中、IWGAはJWGAの渡邉一利副会長とMOUの調印を行いました。本MOUは、両組織のこれまでの協力関係が次の水準に移行したことを証明するものです。ワールドゲームズを各国により知ってもらうために、JWGAとの連携は大切です。オーストリア、イスラエル、ラトビアのNSOとも同様の合意書を締結しました。主な狙いは、選手たちが自国で相応の評価を受けられるようにすることです。これは国内競技団体（NF）の支援がなければ実現できません。バーミングハム大会への皆さまのご尽力がこれを裏付けています。私たちにとっても、これは重要なことであり、IWGAとワールドゲームズ・ファミリーの関係強化につながります。

最後に、ワールドゲームズ2022での日本選手団は世界に誇れるものでありました。現在、39の加盟団体がワールドゲームズ・ファミリーになっています。前述したように、JWGAもファミリー団体の一部です。これはワールドゲームズの発展にとって喜ばしいことであると同時に、JWGA所属団体の選手たちにとっても大変嬉しいことです。このことを心に留め、私たちは一丸となって次回第12回大会の開催都市である中国・成都に向かっています。#Road to Chengdu（成都への道）での皆さまのご支援をお願いします。そして何より、2025年8月7日の開会式で、日本選手団の皆さまをスタジアムにお迎えする日を心待ちにしています。

IWGAとJWGA、連携協定を結ぶ

今大会中の7月12日、IWGAのホセ・ペルレナ・ロペス会長（IOC元委員）と日本ワールドゲームズ協会（JWGA）の渡邉一利副会長との間で連携協定（MOU）の調印が行われました。ワールドゲームズにおいて日本初のMOUとなり、今後、ワールドゲームズの普及に向けたプロモーションや、ワールドゲームズを通じた世界平和の推進を双方連携のうえ取り組む内容となっています。JWGAの役割は今後益々重要となり、日本国内の競技団体をはじめ、関係諸機関ともより関係を密にし、ワールドゲームズを推進して参ります。



大会総括

Withコロナでの大会開催に挑み、ロシアのウクライナ侵攻に抗議しながら開催された第11回ワールドゲームズ

特定非営利活動法人日本ワールドゲームズ協会
執行理事　師岡 文男

国際ワールドゲームズ協会（IWGA）名誉委員
国際スポーツ団体連合（GAISF/SportAccord）元理事
世界フライングディスク連盟理事
日本フライングディスク協会会長
上智大学名誉教授

2022年7月7日（木）～17日（日）の11日間、アメリカ合衆国バーミングハムで開催された第11回ワールドゲームズは、新型コロナウイルス感染拡大で当初の開催年が1年延期され、第1回サンタクララ大会から41年ぶりのアメリカ開催となりました。大会期間中、ほとんどの選手・役員・観客がマスクを着用しない状況下で、感染する選手・役員・関係者が出ましたが、感染者は5日間の隔離の後にPCR検査を実施して出場の可否を決定する方式で、大会は予定通りに運営されました。

大会132日前の2022年2月24日にはロシアによるウクライナ侵攻が始まってしまい、国際ワールドゲームズ協会（IWGA）理事会は、3月にロシアとウクライナ侵攻に協力しているベラルーシの選手の参加を認めないことを決定し、ウクライナ選手団に支援金54,000ドルとチケット1枚に付1ドルを贈りました。最終的には、さまざまな困難を乗り越えて、第11回大会にはウクライナを含む99カ国3,457人の選手が参加。前回第10回大会の102カ国に次ぐ史上2番目に多い国・地域から史上最多の選手が34競技58種目223のメダルイベントに参加しました。観客数も開会式の26,000人を筆頭に23会場計37万7,000人を記録しています。

大会を後援するIOCのトーマス・バッハ会長も視察に訪れ、選手達や国際競技団体・IWGA役員と交流し、オリンピックの追加競技種目はすべてワールドゲームズ競技が選ばれている関係性の深さを示していました。

国別の金メダル獲得数は、ドイツが1位（金メダル24個、銀メダル7個、銅16個）、2位アメリカ（金16/銀18/銅10）、3位ウクライナ（金16/銀12/銅17）、日本は8位（金10/銀11/銅12）でした。因みにドイツの選手数は237人で、アメリカ（340人）に次ぎ2位で、3位のイタリア（185人）を上回っています。

放送は、前回の2017年大会同様、オリンピックチャンネルが協力し、世界中の多くの人々が大会を視聴することができました。権利マーケターのISBは、15の放送局に国際テレビ放映権を販売し、コンテンツは75カ国のテレビで放映されました。アメリカでは、3大全米ネットワークの1つであるCBSが放映権を取得し、連日テレビ報道しました。

日本では、テレビ東京が放映権を獲得し、ソフトボール、スポーツクライミング、ラクロスの番組は放送されましたが、ワールドゲームズそのものとその他の競技については今大会の映像がまったく流れず大変残念でした。また、オリンピックチャンネルによる日本への配信が行われなかった競技がかなりあったことは次回改善されるべき課題であり、大会期間中にIWGAと連携協定を締結した日本ワールドゲームズ協会（JWGA）の交渉課題となるでしょう。TVニュース用の映像の提供を望んだ他のテレビ放送局が、結局映像を入手できなかったことについても改善を求めていく予定です。

今回、パラスポーツの車いすラグビーが初めてワールドゲームズに採用されました。小生がIWGA理事を務めた際提案し続けたことが実現して嬉しい限りですが、採用される種目は、パラリンピックに採用されていない種目にすることが今後ワールドゲームズとしては重要だと思います。

また、今回ワールドゲームズプラザのスポーツガーデンに、今回の大会の競技種目に選ばれなかった合気道などIWGA加盟国際競技団体の9種目を一般市民が体験するコーナーを設置したことは、スポーツ・フォー・オールを推進するためにも有意義であったと思われます。

この他、eゲームパビリオンで、アーチェリー、野球、ラケットボールなどのワールドゲームズスポーツのeゲーム版を試すコーナーが開設されたことは、今後多様化することが予想されるワールドゲームズ競技のあり方を考えるためにも重要であったと思います。

大会組織委員会はまだ収支決算を報告していませんが、既存施設を使って開催するワールドゲームズのあり方は、今後肥大化したオリンピックを改善するために極めて実効性のある方法であることは間違いないと思われます。因みに大会組織委員会が大会前に発表している大会の経済効果予測は、2億5,600万ドル（大会開催時の為替レート$1＝135円で計算すると345億6,000万円）となっています。

今回独立行政法人日本スポーツ振興センターは、2001年に秋田で22億円で第6回ワールドゲームズを開催できた前例をもとに、日本の地方都市が国際スポーツイベントを開催する可能性を検討するために、第11回ワールドゲームズの現地調査を行い報告書をまとめ発表しました。今後、既存施設を使用して大会開催経費を抑える検討が進むことが期待されます。

協会概要（2022年7月1日現在）

役員

任期：2022年7月1日～2024年6月30日

会　長	赤木 恭平	Kyohei AKAGI	公益財団法人日本オリンピック委員会 名誉委員
副会長	渡邉 一利	Kazutoshi WATANABE	公益財団法人笹川スポーツ財団 理事長
執行理事	大塚 眞一郎	Shinichiro OTSUKA	公益社団法人日本トライアスロン連合 専務理事 ワールドトライアスロン 副会長 公益財団法人日本オリンピック委員会 国際委員会 委員
	師岡 文男	Fumio MOROOKA	一般社団法人日本フライングディスク協会 会長 世界フライングディスク連盟 理事 国際ワールドゲームズ協会 名誉委員
	吉澤 俊治	Shunji YOSHIZAWA	一般社団法人日本水中スポーツ連盟 副会長 世界水中スポーツ連盟 理事
	吉田 進	Susumu YOSHIDA	特定非営利活動法人日本パラ・パワーリフティング連盟 選手強化委員長兼ヘッドコーチ
理　事	川原　貴	Takashi KAWAHARA	公益社団法人日本アメリカンフットボール協会 理事 一般社団法人全日本テコンドー協会 会長
	清宮 邦雄	Kunio KIYOMIYA	一般社団法人ワールド スケート ジャパン 顧問
	栗原 茂夫	Shigeo KURIHARA	公益財団法人全日本空手道連盟 副会長
	小林 伸輔	Shinsuke KOBAYASHI	一般社団法人共同通信社 編集局 企画委員
	齋藤 良太郎	Ryotaro SAITOH	公益財団法人全日本ボウリング協会 専務理事
	滝川 哲也	Tetsuya TAKIGAWA	株式会社時事通信社 編集局 解説委員
	南 和文	Kazufumi MINAMI	公益財団法人日本相撲連盟 会長 国際相撲連盟 副会長・事務総長 公益財団法人日本オリンピック委員会 名誉委員
	宮城島 眞知子	Machiko MIYAGISHIMA	前公益社団法人日本スカッシュ協会 常務理事
	森岡 裕策	Yusaku MORIOKA	公益財団法人日本スポーツ協会 専務理事
監　事	川地 政夫	Masao KAWACHI	公益財団法人日本ライフセービング協会 事務局長
	寺尾 靖世	Yasuyo TERAO	日本マウンテンバイク協会 理事・事務局長

会員（団体）

48団体

■ 正会員（29団体）

- 公益財団法人合気会
- 公益財団法人全日本空手道連盟
- 一般社団法人日本サーフィン連盟
- 特定非営利活動法人日本水上スキー・ウエイクボード連盟
- 公益財団法人日本相撲連盟
- 公益社団法人日本ダンススポーツ連盟
- 公益社団法人日本ビリヤード協会
- 一般社団法人日本フロアボール連盟
- 公益社団法人日本ボディビル・フィットネス連盟
- 一般社団法人ワールド スケート ジャパン
- 公益社団法人全日本アーチェリー連盟
- 日本キャスティング協会
- 公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会
- 一般社団法人日本水中スポーツ連盟
- 公益財団法人日本ソフトボール協会
- 公益社団法人日本パワーリフティング協会
- 公益社団法人日本武術太極拳連盟
- 公益社団法人日本ペタンク・ブール連盟
- 公益財団法人日本ライフセービング協会
- 公益財団法人笹川スポーツ財団
- 公益社団法人日本カヌー連盟
- 一般財団法人日本航空協会
- 一般社団法人全日本柔術連盟
- 公益社団法人日本スカッシュ協会
- 公益財団法人日本体操協会
- 公益財団法人日本ハンドボール協会
- 一般社団法人日本フライングディスク協会
- 公益財団法人全日本ボウリング協会
- 公益社団法人日本ラクロス協会

■ 準会員（15団体）

- 公益社団法人日本アメリカンフットボール協会
- 日本オーケーゴルフ協会
- 公益財団法人日本ゲートボール連合
- 公益財団法人日本ソフトテニス連盟
- 一般社団法人日本ドラゴンボート協会
- 一般社団法人JAWA日本アームレスリング連盟
- 一般社団法人全日本空道連盟
- 一般社団法人日本健康麻将協会
- 公益社団法人日本ダーツ協会
- 日本マウンテンバイク協会
- 公益社団法人日本エアロビック連盟
- 一般社団法人日本車いすラグビー連盟
- 国際スポーツチャンバラ協会
- 公益社団法人日本トライアスロン連合
- 一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会

■ 支援会員（4団体）

- 東京スカイダイビングクラブ
- 公益社団法人全日本フルコンタクト空手道連盟
- 一般社団法人日本スポーツカイロプラクティック連盟
- 公益財団法人日本レクリエーション協会

JAPAN World Games Association

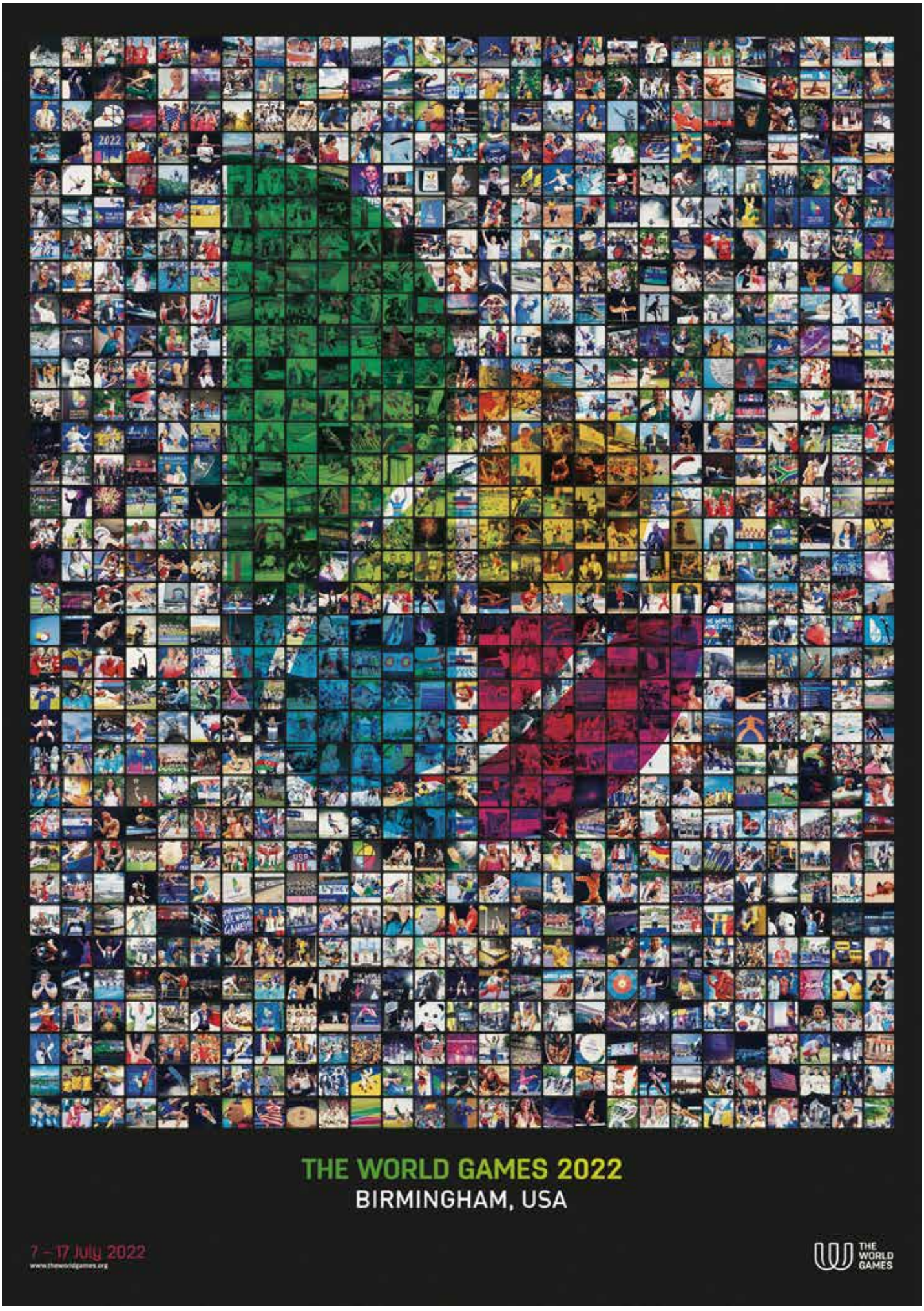
特定非営利活動法人 日本ワールドゲームズ協会

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル3階 笹川スポーツ財団内
TEL：03-6229-5300　FAX：03-6229-5340　Email：info@jwga.jp

https://www.jwga.jp

2023.2

本報告書は、スポーツ振興くじ助成金を受けて製作しました。



スポーツ振興基金
独立行政法人日本スポーツ振興センター

スポーツくじ WINNER toto BIG

phiten

特定非営利活動法人 日本ワールドゲームズ協会
https://www.jwga.jp